

## IV. 花き日持ち性に関する産地実態調査の結果概要

### 1. 調査方法

日本花き生産協会の会員事務局（花き連）を通じて、会員の所属する都府県の協力を得て28年8～10月にかけて調査を実施した。21都府県の回答を得、切花については個人85人、団体は94団体から、鉢物は350人から回答をいただいた。（取りまとめ結果は別添「参考資料1」を参照。）

### 2. 結果の概要

#### (1) 主な切花の日持ち性向上の取組状況

主要品目の日持ち性向上への主な取組状況を見ると、多くの品目で産地や団体で日持ち性向上に取組んでいない、又はわからない、栽培方法の申し合わせがない、又はわからないとの回答が多くみられる。また、きれいなハサミの使用について留意していない、農薬・肥料の使用記録も取っていない等の回答も多くみられる。日持ち性向上対策の啓発の必要性が伺える。

(単位：%)

問い	回答	輪ぎく		スプレーぎく		バラ		カーネーション	
		個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
産地・団体で日持ち性向上に取組んでいるか	はい	61	50	—	90	59	63	71	80
	いいえ	31	21	—	0	18	6	29	0
	わからない	8	29	—	10	23	31	0	20
日持ち性確保のため、栽培方法の申し合わせをしているか	はい	46	21	—	50	27	6	43	33
	いいえ	46	29	—	10	64	80	57	45
	わからない	8	50	—	40	9	13	0	22
通常の採花時間	早朝	31	60	—	36	23	42	50	15
	午前中	53	27	—	55	35	21	50	54
	夕方	8	0	—	0	15	16	0	23
	その他	8	13	—	9	27	21	0	8
前処理をしているか	はい	17	25	—	60	73	75	100	100
	いいえ	83	75	—	40	27	25	0	0
きれいなハサミを使っているか	殺菌	23	21	—	18	18	29	14	27
	水洗い	15	36	—	46	17	14	43	46
	留意してない	62	43	—	36	65	57	43	27
農薬、肥料等の使用履歴を記録しているか	はい	23	29	—	20	50	50	0	30
	いいえ	77	71	—	80	50	50	100	70

#### (2) 主な鉢物の日持ち性向上の取組状況

主要な鉢物の日持ち性向上への取組状況を見ると、ほとんどの品目で取組んでいるとの回答が多い。その取組内容としては、栽培管理や肥料が全般に多いが、特に洋らんでは80%と高くなっている。農薬、肥料等の使用履歴を記録していない、栽培管理の情報発信をしていないとの回答がいずれの品目についても多く、今後の課題である。

(単位：%)

問い	回答	シクラメン	草花類	花壇用 苗物	洋らん	観葉 植物	花木類	多肉 植物
農場では、日持ち性 向上に取り組んでいるか	はい	90	82	74	85	84	91	82
	いいえ	6	8	14	6	16	9	18
	わからない	4	10	12	9	0	0	0
上記間で「取り組んでいる」 と答えた人の取組 (複数回答、はいと答えた 人の取組内容比率)	出荷基準	25	33	35	34	44	52	33
	栽培管理	57	47	35	80	50	24	33
	土作り	29	31	24	2	38	19	33
	肥料	65	67	67	20	56	38	33
	タグ	43	43	16	36	16	19	56
	その他	6	9	8	9	9	10	33
農薬、肥料等の使用履歴 を記録しているか	はい	69	75	57	50	55	70	55
	いいえ	31	25	43	50	45	30	45
栽培管理の情報発信を しているか	はい	24	36	15	56	32	22	46
	いいえ	76	64	85	44	68	78	54

## V. 日持ち性向上生産管理基準の策定と活用

### 1. 日持ち性向上生産管理基準の策定

#### (1) 切花

- ① 生産段階における花き日持ち性の底上げを図る観点から生産管理基準を策定することとした。従来の採花後処理等の基準のみならず、栽培管理についても基準化する方向で検討を開始した。
- ② 今年度は、輪ぎく、スプレーぎく、カーネーション、ばらの4品目について基準を策定することとした。栽培管理に関する部分は研究ワーキンググループに協力頂き基準原案を策定し、日本花き生産協会の4部会の意見も反映した上で基準案を策定して、検討委員会の承認を得て決定した。(別紙1)
- ③ また、各管理基準に従い、自己経営での実施計画を記載する様式(別紙2)を作成し、自己啓発に資するとともに、審査を容易にする上で役立てることとした。

#### (2) 鉢物

- ① 鉢物の生産管理基準の検討にも早期に着手することとし、研究者等で構成する「鉢物生産管理基準検討委員会」を組織して29年1月に検討を開始した。
- ② 当面、シクラメン、アジサイ、胡蝶蘭の3品目について基準案を作成し、2月に鉢物生産管理基準検討委員会と日本花き生産協会の鉢物部会、洋らん部会の合同会議で検討を行った。(別紙3)

## 2. 日持ち性向上生産管理基準の活用について

(1) 日持ち性向上生産管理基準に準拠した生産にインセンティブを与えるため、同基準に取り組む生産者を認定し、認定者について「日持ちさん」の認定マーク（別紙4）を使用してもらうとともに、市場等関係機関への通知や広報などを検討してきた。

また、認定の継続性を考えた時、認定経費の削減の必要性等から、都府県の当協会会員事務局での審査体制の確立、改良普及員やJA営農指導の確認協力が得られないか等について検討をしてきた。

(2) この認定の考え方に対し、関係県や団体等と意見交換をした結果、認定まで行わずに生産者団体の運動論に留めてはどうか、県段階に審査の責任と役務を負わせること、改良普及員や営農指導員に過大な責任を負わせることは不可能である等、色々なご意見を頂いた。

(3) 一方、今年の通常国会にJAS法改正案が提出され、その中で新たに花きについても対象になるとの情報がもたらされた。農林水産省のJAS担当部局との協議の結果、日持ち性向上などの生産管理方式のJAS規格化も大いに可能性があるとのことから、花き業界としてこの生産管理基準をベースにJAS規格化と認証の実現に取り組んで行く必要がある。

(4) 以上の状況を踏まえ、JAS規格化と認証を念頭に、本年度策定した4品目はもとより、今後さらに品目を拡大し生産管理基準を策定し認定して行く方向で検討を進めて行くこととした。

そのため、今年度は、来年度以降本格的な認定制度の実施に向けて知見を得るため、スプレーぎく1品目について、日本花き生産協会が審査主体となり、県段階に負担と責任を余りかけない方式での認定の試行を数県を対象に行い、認定に係る各段階の業務量や所要経費等のシミュレーションを実施することとした。

## 別紙1

## 日持ち性向上生産管理基準（輪ギク：施設）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考
1	圃場衛生	除草・清掃をする		
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする		軟弱徒長を防ぐ
3	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する		軟弱徒長を防ぐ
4	換気	適切に換気をし、湿度を下げる		炭酸ガスの補給と過湿防止
5	シエード管理	高温期の夜間は開放する		昇温防止
6	日照(遮光)	遮光は必要最小限とする		軟弱徒長を防ぐ
7	採花	強光下や葉が萎れた状態で採花しない		
8	採花後吸水(前処理)までの保管	蒸れないように低温で保管する		
9	水あげ場所	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所		ヒートショックに注意する
10	水あげの水(切り水)	水道水または飲用に適する井戸水		
11	水あげ・前処理	毎回交換		
12	容器の洗浄	切り水の交換ごとに洗浄する		
13	前処理剤	適切な前処理剤を使用する		
14	冷蔵庫	冷蔵庫の殺菌(ポトリチス)		ポトリチス菌の密度低下
15	清掃	清掃を徹底する		
16	作業場・選花場	定期的な洗浄と消毒		農協の選花場も同じ
17	室温	25℃以下		
18	採花器具	定期的に洗剤で洗う		
19	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所		ヒートショックに注意する
20	滞留日数	3日以内		長期間切りだめしない
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない		
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する		
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集		共選は農協等から情報収集
24		クレーム内容と対応を記録する		
25	指導機関	指導機関の指導		指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
		合計		○が20以上で承認

(注1) 自己診断で基準に適合していると考える項目には判定の欄に「○」を記入する。(注2) 黄色の項目は必須事項。

日持ち性向上生産管理基準案（輸ギク：施設）要件の解説

項目	チェックポイント	解説
1	圃場衛生	雑草、落葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
2	かん水・肥培管理	根の生理活性が低下し、吸水能力が低下する
3	温度管理	光合成を促進し、充実した切り花を生産する
4	換気	室内の湿度を排出し、炭酸ガスを取りこむことで充実した切り花を生産する
5	シエード管理	高温で軟弱になり、切り花能力が低下する
6	日照（遮光）	遮光が強すぎると軟弱になり、吸水能力が低下する
7	採花	高温、強光時に採花すると切り花がダメージを受け、萎れやすい
8	採花後吸水（前処理）までの保管	採花後、高温で保管すると蒸れ、灰色かび病が発生する
9	水あげ場所	天候に影響されず吸水量が安定する
10	水あげの水（切り水）	汚れた水は吸水を阻害する
11	水あげ・前処理	汚れた水は吸水を阻害する
12	容器の洗浄	汚れた容器では切り水・前処理剤の腐敗が早く、吸水を低下させる
13	前処理剤	必要に応じて抗菌剤、糖を含有する前処理剤を使うことで葉の黄化が防げる
14	冷蔵庫	冷蔵庫はかびの温床で、定期的に殺菌して緊密度を下げる
15	清掃	落葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
16	作業場・選花場	細菌等で汚染するとともに、切り花に傷がつき、日持ちが低下する
17	室温	高温では切り花が萎れやすい
18	採花器具	ハサミ等からウイルス、細菌等に感染するとともに、生け花後の切り口の腐敗を早める
19	出荷までの保管	高温で箱詰めしたまま保管すると、むれ、萎れが生じ、日持ちが低下する
20	滞留日数	切りだめせず、できるだけ早く市場に出荷する
21	出荷場までの輸送	むれ、萎れの原因になる
22	栽培履歴	消費者、花店等のクレームの原因究明と品質向上に不可欠
23	お客さま対応	出荷した切り花の評価を収集し、栽培管理、出荷管理に反映させる
24	クレーム処理	クレームの内容および対応を記録することで品質が改善される
25	指導機関	日常的に指導機関の指導を受けることが経営改善、品質向上に重要である

日持ち性向上生産管理基準案（スプレーマム：施設）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考
1	圃場衛生	除草・清掃をする		
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする		軟弱徒長を防ぐ
3	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する		軟弱徒長を防ぐ
4	換気	適切に換気をし、湿度を下げる		炭酸ガスの補給と過湿防止
5	シエード管理	高温期の夜間は開放する		昇温防止
6	日照（遮光）	遮光は必要最小限とする		軟弱徒長を防ぐ
7	採花	強光下や葉がしおれた状態では採花しない		
8	水あげまたは前処理までの保管	蒸れないように低温で保管する		
9	水あげ場所	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所		ヒートショックに注意する
10	水あげの水（切り水）	水道水または飲用に適する井戸水		
11	水あげ・前処理	毎回交換		
12	容器の洗浄	切り水の交換ごとに洗浄する		
13	前処理剤	適切な前処理剤を使用する		
14	冷蔵庫	作ごとに、くん煙剤、塩素剤などで殺菌		ポトリチス菌の密度低下
15	清掃	清掃を徹底する		
16	作業場・選花場	定期的な洗浄と消毒		農協の選花場と同じ
17	室温	25℃以下		
18	採花器具の洗浄	定期的に洗剤で洗う		
19	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所		ヒートショックに注意する
20	滞留日数	3日以内		長期間切りだめしない
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない		
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する		
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集		共選は農協等から情報収集
24		クレーム内容と対応を記録をする		
25	指導機関	定期的に指導機関の技術指導を受けている		指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
		合計		○が20以上で承認

（注1）自己診断で基準に適合していると考える項目には判定の欄に「○」を記入する。（注2）黄色の項目は必須事項。

日持ち性向上生産管理基準案（スプレーマム：施設）要件の解説

項目	チェックポイント	解説
1	圃場衛生	雑草、落ち葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
2	かん水・肥培管理	根の生理活性が低下し、吸水能力が低下する
3	温度管理	光合成を促進し、充実した切り花を生産する
4	換気	室内の湿度を排出し、炭酸ガスを取りこむことで充実した切り花を生産する
5	シート管理	高温で軟弱になり、切り花能力が低下する
6	日照（遮光）	遮光が強すぎると軟弱になり、吸水能力が低下する
7	採花	高温、強光時に採花すると切り花がダメージを受け、萎れやすい
8	採花後吸水（前処理）までの保管	採花後、高温で保管すると蒸れ、灰色かび病が発生する
9	水あげ場所	天候に影響されず吸水量が安定する
10	水あげの水（切り水）	汚れた水は吸水を阻害する
11	水あげ・前処理	汚れた水は吸水を阻害する
12	容器の洗浄	汚れた容器では切り水・前処理剤の腐敗が早く、吸水を低下させる
13	前処理剤	必要に応じて抗菌剤、糖を含有する前処理剤を使うことで葉の黄化が防げる
14	冷蔵庫	冷蔵庫はかびの温床で、定期的に殺菌して緊密度を下げる
15	清掃	落ち葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
16	作業場・選花場	細菌等で汚染するとともに、切り花に傷がつき、日持ちが低下する
17	室温	高温では切り花が萎れやすい
18	採花器具の洗浄	ハサミ等からウイルス、細菌等に感染するとともに、生け花後の切り口の腐敗を早める
19	出荷までの保管	高温で箱詰めしたまま保管すると、むれ、萎れが生じ、日持ちが低下する
20	滞留日数	切りだめせず、できるだけ早く市場に出荷する
21	出荷場までの輸送	むれ、萎れの原因になる
22	栽培履歴	消費者、花店等のクレームの原因究明と品質向上に不可欠
23	お客さま対応	出荷した切り花の評価を収集し、栽培管理、出荷管理に反映させる
24	クレーム処理	クレームの内容および対応を記録することで品質が改善される
25	指導機関	日常的に指導機関の指導を受けることが経営改善、品質向上に重要である

日持ち性向上生産管理基準案（カーネーション）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考
1	圃場衛生	除草・清掃をする		
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする		軟弱徒長を防ぐ
3	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する		
4	換気	適切に換気をし、湿度を下げる		炭酸ガスの補給と過湿防止
5	光環境	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する		光合成の促進
6	芽の整理	不要な芽を整理する		光環境の改善と株の負担軽減
7	採花	朝、夕の気温の低い時間に採花する		
8	採花後前処理までの時間	速やかに前処理に移行する		採花ストレスでエチレンが発生
9	前処理マニュアル	前処理マニュアルを作成し、遵守している		共選は農協等で作成
10	前処理場所	5～10℃の冷蔵庫または冷暗所		ヒートショックに注意する
11	STS剤処理	適正な濃度と時間で処理		
12	前処理液の交換	液が腐敗する前に交換する		過度の繰り返し使用を避ける
13	STS剤の吸収量チェック	季節ごとに吸収量を調査する		気温で吸収量が変化する
14	容器の洗浄	前処理剤の交換ごとに洗浄する		
15	冷蔵庫	冷蔵庫の殺菌(ポトリチス)		ポトリチス菌の密度低下
16	作業場・選花場	清掃を徹底する		
17	室温	25℃以下		
18	ハサミの洗浄	定期的に洗剤で洗う		
19	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所		ヒートショックに注意する
20	滞留日数	3日以内		長期間切りだめしない
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない		選花場より直送の場合は除外
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する		
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集		共選は農協等から情報収集
24		クレーム内容と対応を記録をする		
25	指導機関	定期的に指導機関の技術指導を受けている		指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
合計				○が20以上で承認

(注1) 自己診断で基準に適合していると考える項目には判定の欄に「○」を記入する。(注2) 黄色の項目は必須事項。



日持ち性向上生産管理基準案（カーネーション）要件の解説

項目	チェックポイント	解説
1	圃場衛生	雑草、落ち葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
2	かん水・肥培管理	軟弱徒長の切り花は体内養分が少なく日持ちが短い
3	温度管理	光合成を促進し、充実した切り花を生産する
4	換気	室内の湿度を排出し、炭酸ガスを取りこむことで充実した切り花を生産する
5	光環境	光合成を促進し、充実した切り花を生産する
6	芽の整理	光環境の改善により光合成が促進するとともに、栄養条件が改善し、株が充実する
7	採花	高温、強光時に採花すると切り花がダメージを受けやすい
8	採花後前処理までの時間	採花のストレスでエチレンが発生するので、できるだけ早くSTS処理をする
9	前処理マニュアル	マニュアルにそった前処理で切り花品質が安定する
10	前処理場所	天候に影響されずSTS剤吸収量が安定する
11	STS剤処理	吸収量が少ないと十分な日持ちが得られないし、多すぎると葉害が発生する
12	前処理液の交換	前処理液が腐敗すると吸収量が減少するとともに、生け花後に切り口が腐敗しやすい
13	STS剤の吸収量チェック	切り花の状態、気温等で吸収量は変化し、日持ちに影響する
14	容器の洗浄	汚れた容器ではSTS剤の腐敗が早い
15	冷蔵庫	冷蔵庫はかびの温床で、定期的に殺菌して緊密度を下げる
16	清掃	落ち葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
17	室温	高温では切り花が萎れやすい
18	ハサミの洗浄	ハサミからウイルス、細菌等に感染するとともに、生け花後の切り口の腐敗を早める
19	出荷までの保管	高温下で箱詰めしたまま保管すると、むれ、萎れが生じ、日持ちが低下する
20	滞留日数	切りだめせず、できるだけ早く市場に出荷する
21	出荷場までの輸送	むれ、萎れの原因になる
22	栽培履歴	消費者、花店等のクレームの原因究明と品質向上に不可欠
23	お客さま対応	出荷した切り花の評価を収集し、栽培管理、出荷管理に反映させる
24	クレーム処理	クレームの内容および対応を記録することで品質が改善される
25	指導機関	日常的に指導機関の指導を受けることが経営改善、品質向上に重要である

日持ち性向上生産管理基準案（バラ）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考
1	圃場衛生	除草・清掃をする		
2	かん水・施肥管理	適切にかん水・施肥をする		徒長していない良好な草勢
3	日持ち向上栽培管理	適切な温度と湿度のバランスを維持する		
4	温度・湿度管理	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する		光合成の促進
5	光環境	適正な採花枝数に整理する		光環境の改善と株の負担軽減
6	採花枝数の管理	朝、夕の気温の低い時間に採花する		
7	採花	30分以内		
8	採花後吸水(前処理)までの時間	前処理マニュアル		共選は農協等で作成
9	前処理	前処理マニユアル		5～10℃の冷蔵庫内
10	前処理	前処理マニユアル		前処理マニユアルを作成し、遵守している
11	前処理	前処理マニユアル		5～10℃の冷蔵庫内
12	前処理	前処理マニユアル		抗真菌剤を含む前処理剤を適正濃度で使用する
13	前処理	前処理マニユアル		液が腐敗する前に交換する
14	前処理	前処理マニユアル		前処理剤の交換ごとに洗浄する
15	前処理	前処理マニユアル		適正に管理し、結露を防ぐ
16	前処理	前処理マニユアル		定期的にくん煙剤、塩素剤などで殺菌する
17	前処理	前処理マニユアル		清掃を徹底する
18	前処理	前処理マニユアル		25℃以下
19	前処理	前処理マニユアル		定期的に洗剤で洗う
20	前処理	前処理マニユアル		5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所
21	前処理	前処理マニユアル		3日以内
22	前処理	前処理マニユアル		適正な品質保持剤(抗菌剤)を使用する
23	前処理	前処理マニユアル		直射日光、雨に当てない
24	前処理	前処理マニユアル		栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する
25	前処理	前処理マニユアル		商品の情報発信、評価の情報収集
26	前処理	前処理マニユアル		クレーム内容と対応を記録する
27	前処理	前処理マニユアル		定期的な指導機関の技術指導を受けている
28	前処理	前処理マニユアル		指導機関の名称と指導員氏名 指導機関: 指導者氏名:
29	前処理	前処理マニユアル		共選は農協等から情報収集
30	前処理	前処理マニユアル		選花場より直送の場合は除外
31	前処理	前処理マニユアル		長期間切りだめしない
32	前処理	前処理マニユアル		乾式輸送の場合は除外
33	前処理	前処理マニユアル		選花場より直送の場合は除外
34	前処理	前処理マニユアル		共選は農協等から情報収集
35	前処理	前処理マニユアル		指導機関の名称と指導員氏名 指導機関: 指導者氏名:
36	前処理	前処理マニユアル		○が20以上で承認
合計				

(注1) 自己診断で基準に適合していると考える項目には判定の欄に「○」を記入する。(注2) 黄色の項目は必須事項。

日持ち性向上生産管理基準案（バラ）要件の解説

項目	チェックポイント	解説
1	圃場衛生	雑草、落ち葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
2	かん水・肥培管理	軟弱徒長の切り花は体内養分が少なく日持ちが短い
3	日持ち性向上栽培管理	光合成を促進し、充実した切り花を生産する
4	温度管理	光合成を促進し、充実した切り花を生産する
5	光環境	光環境の改善により光合成が促進するとともに、栄養条件が改善し、株が充実する
6	採花	高温、強光時に採花すると切り花がダメージを受けやすい
7	採花後吸水(前処理)までの時間	採花後、萎れると回復が難しいので、できるだけ早く吸水させる
8	前処理マニュアル	マニュアルにそった前処理で切り花品質が安定する
9	前処理場所	天候に影響されず前処理剤の収量が安定する
10	前処理	道管閉塞を防止、糖分を補給するためには適切な前処理剤の使用が必要
11	前処理液の交換	前処理液が腐敗すると道管閉塞の原因になる
12	容器の洗浄	汚れた容器では前処理剤の腐敗が早い
13	湿度管理	高湿度では花卉が結露し、灰色かび病が発生するので除湿が必要
14	冷蔵庫	冷蔵庫はかびの温床で、定期的に殺菌して緊密度を下げる
15	作業場・選花場	落ち葉等からエチレンが発生し、日持ちの低下と灰色かび病の温床になる
16	室温	高温では切り花が萎れやすい
17	ハサミ	ハサミからウイルス、細菌等に感染するとともに、生け花後の切り口の腐敗を早める
18	出荷までの保管	高温下ではむれ、萎れが生じ、日持ちが低下する
19	滞留日数	切りだめせず、できるだけ早く市場に出荷する
20	輸送時品質保持剤	輸送時に切り水が腐敗するので抗菌剤を含む品質保持剤を使用する
21	出荷場までの輸送	むれ、萎れの原因になる
22	栽培履歴	消費者、花店等のクレームの原因究明と品質向上に不可欠
23	お客さま対応	出荷した切り花の評価を収集し、栽培管理、出荷管理に反映させる
24	クレーム処理	クレームの内容および対応を記録することで品質が改善される
25	指導機関	日常的に指導機関の指導を受けることが経営改善、品質向上に重要である

## 別紙 2

## 日持ち性向上生産管理基準（輪ギク：施設）に準じた、自己経営の実施計画

作成年月日：

項 目	チェックポイント	基 準	自己経営の実施計画
1	圃場衛生	除草・清掃をする	
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする	
3	日持ち向上栽培管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する	
4	温度管理	適切に換気をし、湿度を下げる	
5	換気	高温期の夜間は開放する	
6	シエード管理	遮光は必要最小限とする	
7	日照(遮光)	強光下や葉がしおれた状態では採花しない	
8	採花	蒸れないように低温で保管する	
9	水あげ場所	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
10	水あげの水(切り水)	水道水または飲用に適する井戸水	
11	水あげ・前処理	毎回交換	
12	容器の洗浄	切り水の交換ごとに洗浄する	
13	前処理剤	適切な前処理剤を使用する	
14	冷蔵庫	冷蔵庫の殺菌(ボトリクス)	
15	清掃	作ごとに、くん煙剤、塩素剤などで殺菌 清掃を徹底する	
16	作業場・選花場	定期的な洗浄と消毒	
17	室温	25℃以下	
18	採花器具	定期的に洗剤で洗う	
19	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
20	滞留日数	3日以内	
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない	
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する	
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集	
24		クレーム内容と対応を記録をする	
25	指導機関	定期的な指導機関の技術指導を受けている	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
	作成者	所属・職名：	氏名：

(参考) 日持ち性向上生産管理基準 (輪ゴク:施設)に準じた、自己経営の実施計画の記入例

作成年月日:平成〇年〇月〇日

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画(例)
1	圃場衛生	除草・清掃をする	定期的に除草・清掃をする
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする	県の栽培基準に準じる
3	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する	県の栽培基準に準じる
4	換気	適切に換気をし、湿度を下げる	県の栽培基準に準じる
5	シエード管理	高温期の夜間は開放する	県の栽培基準に準じる
6	日照(遮光)	遮光は必要最小限とする	晴天の10～14時に遮光をする
7	採花	強光下や葉がしおれた状態では採花しない	10時まで採花をする
8	水あげまたは前処理までの保管	蒸れないように低温で保管する	8℃の冷蔵庫で保管する
9	水あげ場所	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	8℃の冷蔵庫で水あげをする
10	水あげの水(切り水)	水道水または飲用に適する井戸水	水道水を使用する
11	水あげ・前処理	水あげの水(切り水)の交換 毎回交換	毎回交換をする
12	容器の洗浄	切り水の交換ごとに洗浄する	切り水の交換ごとに洗浄する
13	前処理剤	適切な前処理剤を使用する	クリザールプロ100倍で8時間の前処理をする
14	冷蔵庫	冷蔵庫の殺菌(ボトリクス)	作ごとにくん煙剤で殺菌をする
15	清掃	清掃を徹底する	作業後に清掃する
16	作業場・選花場	選花機	月に1度洗浄と清掃をする
17	室温	25℃以下	高温期にはエアコンを25℃に設定
18	採花器具	採花器具の洗浄	採花後には洗剤で洗う
19	出荷までの保管	温度	8℃の冷蔵庫で保管
20	滞留日数	採花から出荷までの時間	3日以上は切りだめをしない
21	出荷場までの輸送	温度・雨	トラックの荷台にシートをかける
22	栽培履歴	栽培履歴	栽培履歴を記帳する
23	お客さま対応	コミュニケーション	部会で定期的に市場と情報交換会を開く
24		クレーム処理	クレーム内容と対応を記録する
25	指導機関	指導機関の指導	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関: 指導者氏名:
	作成者	所属・職名:	氏名:

日持ち性向上生産管理基準（スプレーマム：施設）に準じた、自己経営の実施計画 作成年月日： 自己経営の実施計画

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画
1	圃場衛生	除草・清掃をする	
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする	
3	日持ち向上栽培管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する	
4	温度管理	適切に換気をし、湿度を下げる	
5	換気	高温期の夜間は開放する	
6	シエード管理	遮光は必要最小限とする	
7	日照(遮光)	強光下や葉がしおれた状態では採花しない	
8	採花	蒸れないように低温で保管する	
9	水あげまたは前処理までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
10	水あげ場所	水道水または飲用に適する井戸水	
11	水あげの水(切り水)	毎回交換	
12	水あげの水(切り水)の交換	切り水の交換ごとに洗浄する	
13	容器の洗浄	適切な前処理剤を使用する	
14	前処理剤	作ごとに、くん煙剤、塩素剤などで殺菌	
15	冷蔵庫	清掃を徹底する	
16	作業場・選花場	定期的な洗浄と消毒	
17	室温	25℃以下	
18	採花器具	定期的に洗剤で洗う	
19	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
20	滞留日数	3日以内	
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない	
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する	
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集	
24		クレーム内容と対応を記録をする	
25	指導機関	定期的な指導機関の技術指導を受けている	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
	作成者	所属・職名：	氏名：

(参考) 日持ち性向上生産管理基準 (スプレーマム:施設) に準じた、自己経営の実施計画の記入例

作成年月日:平成〇年〇月〇日

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画(例)
1	圃場衛生	除草・清掃をする	定期的に除草・清掃をする
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする	県の栽培基準に準じる
3	日持ち向上栽培管理	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する
4		換気	適切に換気をし、湿度を下げる
5		シエード管理	高温期の夜間は開放する
6		日照(遮光)	遮光は必要最小限とする
7	採花	採花	晴天の10～14時に遮光をする
8		水あげまたは前処理までの保管	10時まで採花をする
9		水あげ場所	8℃の冷蔵庫で保管する
10		水あげの水(切り水)	8℃の冷蔵庫で水あげをする
11	水あげ・前処理	水あげの水(切り水)の交換	水道水を使用する
12		容器の洗浄	毎回交換をする
13		前処理剤	切り水の交換ごとに洗浄する
14	冷蔵庫	冷蔵庫の殺菌(ポトリチス)	クリザールプロ100倍で8時間の前処理をする
15		清掃	作ごとにくん煙剤で殺菌をする
16	作業場・選花場	選花機	作業後に清掃する
17		室温	月に1度洗浄と清掃をする
18	採花器具	採花器具の洗浄	高温期にはエアコンを25℃に設定
19	出荷までの保管	温度	採花後には洗剤で洗う
20		滞留日数	8℃の冷蔵庫で保管
21	出荷場までの輸送	温度・雨	3日以上は切りだめをしない
22	栽培履歴	栽培履歴	トラックの荷台にシートをかける
23	お客さま対応	コミュニケーション	栽培履歴を記帳する
24		クレーム処理	部会で定期的に市場と情報交換会を開く
25	指導機関	指導機関の指導	クレーム内容と対応を記録する
	作成者	所属・職名:	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関: 指導者氏名: 氏名:

日持ち性向上生産管理基準（カーネーション：施設）に準じた、自己経営の実施計画 作成年月日： 自己経営の実施計画

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画
1	圃場衛生	除草・清掃をする	
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする	
3	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する	
4	換気	適切に換気をし、湿度を下げる	
5	光環境	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する	
6	芽の整理	不要な芽を整理する	
7	採花	朝、夕の気温の低い時間に採花する	
8	採花後前処理までの時間	30分以内	
9	前処理マニュアル	前処理マニュアルを作成し、遵守している	
10	前処理場所	5～10℃の冷蔵庫または冷暗所	
11	STS剤処理	適正な濃度と時間で処理	
12	前処理液の交換	液が腐敗する前に交換する	
13	STS剤の吸収量チェック	季節ごとに吸収量を調査する	
14	容器の洗浄	前処理剤の交換ごとに洗浄する	
15	冷蔵庫	年に1度はくん煙剤、塩素剤などで殺菌	
16	作業場・選花場	清掃を徹底する	
17	室温	25℃以下	
18	ハサミ	定期的に洗剤で洗う	
19	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
20	滞留日数	3日以内	
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない	
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する	
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集	
24		クレーム内容と対応を記録をする	
25	指導機関	定期的な指導機関の技術指導を受けている	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
	作成者	所属・職名：	氏名：



(参考) 日持ち性向上生産管理基準 (カーネーション:施設)に準じた、自己経営の実施計画の記入例

作成年月日:平成〇年〇月〇日

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画(例)
1	圃場衛生	除草・清掃をする	定期的に除草・清掃をする
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする	県の栽培基準に準じる
3	日持ち向上栽培管理	温度管理	夏季は高温を避け、冬季は適切に加温する
4		換気	適切に換気をし、湿度を下げる
5		光環境	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する
6		芽の整理	不要な芽を整理する
7	採花	採花	朝、夕の気温の低い時間に採花する
8		採花後前処理までの時間	すみやかに前処理をする
9		前処理マニュアル	前処理マニュアルを作成し、遵守している
10		前処理場所	5～10℃の冷蔵庫または冷暗所
11	前処理	STS剤処理	適正な濃度と時間で処理
12		前処理液の交換	液が腐敗する前に交換する
13		STS剤の吸収量チェック	季節ごとに吸収量を調査する
14		容器の洗浄	前処理剤の交換ごとに洗浄する
15	冷蔵庫	冷蔵庫の殺菌(ボトリチス)	年に1度はくん煙剤、塩素剤などで殺菌
16	作業場・選花場	清掃	作業後に清掃する
17		室温	25℃以下
18	ハサミ	ハサミの洗浄	定期的に洗剤で洗う
19	出荷までの保管	温度	8℃の冷蔵庫で保管
20	滞留日数	採花から出荷までの(時間)期間	3日以上は切りだめをしない
21	出荷場までの輸送	温度・雨	直射日光、雨に当てない
22	栽培履歴	栽培履歴	栽培履歴を記録する
23	お客さま対応	コミュニケーション	部会で定期的に市場と情報交換会を開く
24		クレーム処理	クレーム内容と対応を記録する
25	指導機関	指導機関の指導	指導機関の名称と指導員氏名
	作成者	所属・職名:	指導機関: 指導者氏名: 氏名:

## 日持ち性向上生産管理基準（バラ）に準じた、自己経営の実施計画

作成年月日：

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画
1	圃場衛生	除草・清掃をする	
2	かん水・施肥管理	適切にかん水・施肥をする	
3	日持ち性向上栽培管理	適切な温度と湿度のバランスを維持する	
4	温度・湿度管理	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する	
5	光環境	適正な採花枝数に整理する	
6	採花枝数の管理	朝、夕の気温の低い時間に採花する	
7	採花	30分以内	
8	採花後吸水(前処理)までの時間	前処理マニュアルを作成し、遵守している	
9	前処理マニュアル	5～10℃の冷蔵庫内	
10	前処理場所	抗菌剤を含む前処理剤を適正濃度で使用する	
11	前処理	液が腐敗する前に交換する	
12	前処理液の交換	前処理剤の交換ごとに洗浄する	
13	前処理容器の洗浄	適正に管理し、結露を防ぐ	
14	湿度管理	定期的にくん煙剤、塩素剤などで殺菌する	
15	冷蔵庫	清掃を徹底する	
16	作業場・選花場	25℃以下	
17	ハサミ	定期的に洗剤で洗う	
18	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	
19	滞留日数	3日以内	
20	輸送時品質保持剤	適正な品質保持剤(抗菌剤)を使用する	
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない	
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する	
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集	
24		クレーム内容と対応を記録をする	
25	指導機関	定期的な指導機関の技術指導を受けている	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
	作成者	所属・職名：	氏名：

作成年月日：平成〇年〇月〇日

(参考) 日持ち性向上生産管理基準 (バラ) に準じた、自己経営の実施計画の記入例

項目	チェックポイント	基準	自己経営の実施計画(例)
1	圃場衛生	除草・清掃をする	定期的に除草・清掃をする
2	かん水・施肥管理	適切にかん水・施肥をする	県の栽培基準に準じる
3	日持ち向上栽培管理	適切な温度と湿度のバランスを維持する	県の栽培基準に準じる
4	温度・湿度管理	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する	県の栽培基準に準じる
5	光環境	適正な採花枝数に整理する	県の栽培基準に準じる
6	採花枝数の管理	朝、夕の気温の低い時間に採花する	10時まで採花をする
7	採花	30分以内	採花後すみやかに前処理をする
8	採花後吸水(前処理)までの時間	前処理マニュアル	前処理マニュアルを作成し、遵守している
9	前処理	5～10℃の冷蔵庫内	8℃の冷蔵庫で前処理をする
10	前処理	抗菌剤を含む前処理剤を適正濃度で使用する	ハイフローラ・バラ100倍で6時間の前処理
11	前処理	液が腐敗する前に交換する	毎回交換をする
12	前処理	前処理剤の交換ごとに洗浄する	毎回洗浄する
13	湿度管理	適正に管理し、結露を防ぐ	除湿機で除湿をする
14	冷蔵庫の殺菌(ポトリチス)	定期的にくん煙剤、塩素剤などで殺菌する	常時、塩素剤で殺菌をする
15	清掃	清掃を徹底する	作業後に清掃する
16	作業場・選花場	25℃以下	高温期にはエアコンを25℃に設定
17	ハサミ	定期的に洗剤で洗う	採花後には洗剤で洗う
18	出荷までの保管	5～10℃の冷蔵庫内または冷暗所	5℃の冷蔵庫で保管
19	滞留日数	3日以内	3日以上は切りだめをしない
20	輸送時品質保持剤	適正な品質保持剤(抗菌剤)を使用する	T-バッグを使用する
21	出荷場までの輸送	直射日光、雨に当てない	ワゴン車で輸送をする
22	栽培履歴	栽培・採花日・収穫後管理等の履歴を記録する	栽培履歴を記録する
23	お客さま対応	商品の情報発信、評価の情報収集	季節ごとに市場、花店を訪問する
24	指導機関	クレーム内容と対応を記録する	クレーム内容と対応を記録をする
25	作成者	指導機関の指導 所属・職名:	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関: 指導者氏名: 氏名:

別紙3  
日持ち性向上生産管理基準案（シクラメン：施設）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考
日持ち向上栽培管理	圃場衛生	除草と十分な清掃をする		灰色かび病の感染源をなくす
		種子消毒の実施		葉腐細菌病などの持ち込みをなくす
		耕種的な病害防除の徹底		感染株の早期発見・除去と定期的な薬剤散布により、感染をなくす
	栽培資材の洗浄と消毒	鉢替えや葉組みの事後には、芽点への病害予防散布を徹底する		傷口からの病害の感染を予防する
		育苗資材、育苗ベンチ、底面給水樋、マットなどの栽培施設は、作付け前に清掃・消毒を行う		葉腐細菌病等、病害の持ち込みをなくす
		栽培前半では、根域の発達を促すため上部灌水や間断灌水で適切に管理する		根域のガス交換を促し、健全な根域を確保する
	かん水管理	栽培後半は、花蕾に水をかけないよう、適切にかん水する		花傷みと出荷後の萎れ症状の防止
		適切な施肥管理を行い、出荷期の多窒素や肥料切れを避ける		体内糖濃度を高め、黄化葉を防止する
	肥培管理	土壌消毒などにより、清潔な培養土を用いる		灰色かび病等、病害の持ち込みをなくす
		暖房機の準備を早めに行い、15℃前後に加湿する		加温開始が遅れることによる多湿・結露を避ける
	温湿度管理	適切な換気、循環扇や除湿運転によって、多湿を避ける		花蕾の灰色かび病を防ぐ
		被覆資材の洗浄等で十分な光量確保する		光合成の促進
	光環境	光合成の盛んな朝・夕には、十分な換気によって高いCO2濃度を確保する		光合成の促進
		必要最低限の処理にとどめる		植物成長調整剤による開花促進は、出荷後の連続開花性を悪くする可能性がある
	ガス環境管理	CO2施用を行う際は、出荷前3週間800～1000ppm程度を目標とする		光合成の促進
植物成長調整剤による処理			低温順化には2～3週間程度の期間が必要であり、その期間を考慮した出荷計画が必要	

出荷	水分管理	出荷予定の鉢は、容水量の過不足がないよう事前に確認する	流通段階での乾燥・過湿を予防する
	出荷調整	開花の揃った株から順次出荷し、無理な出荷調整を行わない	消費段階での連続開花性を低下させない
	黄化葉と萎凋花の除去	黄化した葉や傷んだ花を取り除く	灰色かび病の蔓延を防ぐ
	箱詰めとラッピング	花や葉を傷めないようにする	
作業場	清掃	清掃を徹底する	
	環境管理	20℃以下にする	
出荷までの保管	保管時の環境	強光と高湿度、低温を避け、適温で保管する	低温障害と花蕾の灰色かび病を防ぐ
出荷場までの輸送	輸送時の環境	強光、高湿度を避け、適温で振動の少ない条件で輸送する	低温障害、萎れ、花蕾の灰色かび病を防ぐ
市場・販売店対応	水分管理	長距離転送後・長時間滞留時には灌水を行うよう伝える	着荷時の萎凋防止
栽培履歴	販売時の環境	強光・強風下・極端な低温での保管は避けるよう伝える	低温障害と萎凋防止
	栽培履歴	栽培・薬剤散布・出荷日等の履歴を記録する	
お客さま対応	コミュニケーション	商品の情報発信、評価の情報収集	共選は農協等から情報収集
	ラベル、ポップ等の添付	水やりや施肥の方法や適切な環境など、日持ちのする観賞条件を伝える	消費者段階での環境を良くすることで、日持ちを実感してもらう
	クレーム処理	クレーム内容と対応を記録する	
指導機関	指導機関の指導	定期的に指導機関の技術指導を受けている	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
合計			○が 以上で承認

日持ち性向上生産管理基準案（アジサイ：施設・促成・フレッシュカラー）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考	
日持ち性向上栽培管理	圃場衛生	除草と十分な清掃をする		ウドンコ病の感染源をなくす スリップスの宿主を除去する	
		病害予防の徹底		感染株の早期発見・除去と定期的な薬剤 散布により、感染をなくす	
	栽培資材の洗浄と消毒	底面給水樋、マットなどの栽培施設および鉢 等の資材は、作付け前に清掃・消毒を行う			病原菌の持ち越しをなくす
		植え付け用土の消毒を行う			病原菌の持ち込みをなくす
	かん水管理	通期にわたり水切れしない管理を行う			しおれ癩の防止
		底面吸水の場合は常時湛水を避け、間断湛 水を心がける			根痛みによる萎凋の防止
	肥培管理	出荷色にあわせた適切な管理・用土選択			出荷色にあわせ、観賞期間中に変色しな い用土選択に留意する
		出荷色にあわせた適切な施肥管理を行う			ブルーでの出荷時には過剰な施肥は避 け、ピンクでの出荷時には観賞期間中に肥 料が切れないよう、肥料の選択・施肥量に 留意する
	温湿度管理	萌芽後は10℃以下、25℃以上にならないよ う管理を行う			低温による葉先の変色や痛みを防止する 高温によるTR比の過剰上昇に起因する萎 凋、しおれ癩を防止する
		適度な温室内湿度の維持			好天や強風等による極端な湿度低下は花 房割れの原因となり、出荷後の品質低下を 助長する 高湿度下で栽培すると、出荷後の低湿度 条件でしおれやすくなる
	光環境	被覆資材の洗浄等で十分な光量を確保する			光合成の促進
		着色開始後は着色に影響のない範囲で適切 な遮光を行う			花房割れ、しおれ癩の防止
	ガス環境管理	光合成の盛んな朝・夕には、十分な換気 によって高いCO2濃度を確保する。			光合成の促進
		出荷場所	十分な遮光下で作業する		
水分管理	出荷予定の鉢は十分な灌水を行い、容水量 の不足がないよう事前に確認する			流通段階での乾燥を予防する	
	出荷調整	適度に着色した株から順次出荷し、着色不 十分な株の出荷を行わない		消費段階での観賞性低下防止	
黄化葉等の除去	黄化した葉や傷んだ花を取り除く			ボトリチスの蔓延を防ぐ	

	箱詰めとラッピング	輸送中の花房割れが起きにくいよう、支持材等を利用した対策を行う。対策時には花や葉を傷めないようにする	輸送中の振動による花房割れを予防するため、物理的に固定する
作業場	清掃 環境管理	清掃を徹底する 25℃以下	
出荷までの保管	保管時の環境	強光・風を避け、10～20℃程度で保管し、特に高温には注意する。	萎凋を防ぐ
出荷場までの輸送	輸送時の環境	強光・風を避け、10～20℃程度で保管し、特に高温には注意する。	萎凋を防ぐ
栽培履歴	振動	振動に注意して輸送する	花房割れを防止
市場・販売店対応	栽培履歴 水分管理	栽培・出荷日等の履歴を記録する 長距離転送後・長時間滞留時には灌水を行うよう伝える	着荷時の萎凋防止
	販売時の環境	強光・強風・高温・低温下での保管は避ける	萎凋・痛みの防止
	観賞方法の明示	水やり、置き場所等、消費者段階での管理情報を発信する	消費者段階での環境を良くすることで日持ちを実感してもらう
お客さま対応	評価の情報収集	出荷物の市場・小売・消費者の各段階における評価を収集する	次作以降での改善点を抽出する。 共選は農協等から情報収集を行う
	クレーム処理	クレーム内容と対応を記録する	
指導機関	指導機関の指導	定期的な指導機関の技術指導を受けている	指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名：
	合計		○が 以上で承認

日持ち性向上生産管理基準案（ファレノプシス：施設）

項目	チェックポイント	基準	判定	備考
1	圃場衛生	除草・清掃をする		
2	かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥をする		根張りがよく徒長のない良好な草勢
3	日持ち性向上栽培管理	夏季は高温を避け、冬季は15℃以上に加温		軟弱徒長を防ぐ
4	湿度管理	適切に換気し、湿度を下げる		過温防止と換気によるCO2補給
5	日照(遮光)	遮光は必要最小限とする		光合成の促進、軟弱徒長を防ぐ
6	寄せ植え	花、花茎、葉 植え込みにすぎ間がないこと		
7	品質保持	開花ステージ 花の保護		低温期はよく開花させる
8	作業場・出荷場	清掃 室温		エチレン感受性であることに注意
9	情報発信	ラベル・ポップの添付		
10	出荷までの保管	温度		極端な高低温に注意する
11	出荷までの輸送	温度・雨		
12	栽培履歴	栽培履歴		
13	お客さま対応	ラベル、ポップ等の添付		
14	指導機関	指導機関の指導		指導機関の名称と指導員氏名 指導機関： 指導者氏名： ○が14以上で承認
15	栽培履歴	栽培履歴		
16	情報発信	ラベル・ポップの添付		
17	お客さま対応	ラベル、ポップ等の添付		
18	指導機関	指導機関の指導		
合計				



日持ちさん キャラクター&ロゴ(基本形)

日持ちも長く、彩りたいから。



日持ちさん

日持ちも長く、彩りたいから。



日持ちさん

## VI. 量販店・ホームセンターおよび葬祭業者が求める花の規格・品質に関する調査結果概要

**調査概要：**ホームセンター、葬祭業者、婚礼業者、量販店花店 の4業態において各2社ずつ、対面聞き取り調査、および記入式アンケートを行い、実需者の求める日持ちと規格について調査した。

**調査期間：**2017年1月～2月

**調査協力企業：**ホームセンター：株式会社カインズ、株式会社ジョイフル本田  
葬祭業者：株式会社ユー花園、株式会社リベント  
婚礼業者：株式会社八芳園グループ総本社、株式会社フランテッセ  
量販店花店：有限会社カトレア、株式会社東光フローラ

**質問及びアンケート項目は次ページを参照、調査結果は別添「参考資料2」を参照**

### 聞き取り調査結果概要：

- 調達方法：** 品質保持と価格安定のために産地や生産者と直接契約  
大田市場はなんでも揃うため便利
- 規格・品質：** 使いやすい長さは60センチ前後  
使用目的にあった規格のものを仕入れる
- 輸入品および造花：** 輸入品は品質が安定しており、価格も手ごろ  
造花のクオリティ向上と、消費者の低価格ニーズがマッチ
- 販売方法：** 低価格パッケージ商品をセルフスタイルで販売、売上は好調  
大量仕入れの量販店・ホームセンター等は、鮮度に自信を持っている
- 鮮度管理の取組み：** 店舗数が多い場合「誰でもできるように」鮮度管理等のマニュアルを作成  
延命剤や水揚げ剤は必要に応じて使用し品種や季節などで使い分ける  
購入者には、水替え、水切りなどを口頭で案内したり、POPやチラシで延命剤を使用することを推奨したりしている
- 日持ち保証販売：** 店舗の運用管理体制を整える必要があり、社内マニュアルを作る契機になった  
市場からの低温輸送が困難、販売価格に転嫁できない等、日持ち保証販売導入に否定的な要因も少なくない

### アンケート回答概要：

- 情報：** 調査企業のうち、6社がSNSなどのソーシャルメディアを利用し、情報発信している。  
また、情報の入手先は、全社とも利用している媒体はインターネット。  
必要としている情報は、産地、生産者、新製品、新商品、景気動向。
- 販売：** 花束の需要が伸びている  
お客様から質問があるのは、日持ち、手入れ方法、季節のもの、珍しいもの  
需要が見込めそうなものは体験型花教室
- 日持ち：** 重要と思われる点は、市場での管理と小売り店での管理  
日持ちを必要としている用途は、家庭用  
日持ち向上の取り組みが必要な品目はアジサイ  
日持ちの取り組みに必要と思われる情報は採花日、栄養剤、温度管理の科学的な裏づけ

## ヒアリング項目

1. 企業概要（所在地、資本金、設立、仕入先、販売先等）
2. 花き園芸関連売り上げ高の推移（2013-2015）
3. 花・植物における調達方法と廃棄におけるルール
4. 花の鮮度管理に関する取組み
  - （1）花の鮮度管理について、本部・店舗で実施していること
  - （2）導入している切花鮮度保持剤
  - （3）切花の購入者に対して、切花の日持ちを長くさせるために実施していること
5. （実施企業）日持ち保証販売について
  - （1）日持ち販売保証の取組み（実施している店舗数・実施品目など）
  - （2）日持ち販売保証の販売効果・消費者からのクレーム
  - （3）日持ち販売保証における課題・問題点
6. （未実施企業）日持ち保証販売について
  - （1）日持ち保証販売への関心度
  - （2）日持ち保証販売を実施しない理由
  - （3）今後、日持ち保証販売の実施の可能性
7. 花の鮮度管理における課題・問題点
8. 花の鮮度管理における今後の方向性

## アンケート質問事項

### ■貴店の情報発信等について

- Q フェイスブック、ツイッターなどのSNSやブログなどソーシャルメディアを活用して、お客様に情報発信をされていますか？
- Q 販売商品の価格や産地、品種の特徴などについて、戦略的に表示や情報提供をされていますか。
- Q 経営に必要な情報をどのように集められていますか。（複数回答可）
- Q 貴店は、今後、どのような情報を必要とされていますか。（複数回答可）
- Q 販売商品について、近年、変化がありますか。
- Q 最近、お客様からどのような要望がありますか。（複数回答可）
- Q お客様が貴店の商品を選ぶ理由と考えられるものを選んでください。（複数回答可）

### ■専門小売店の経営方針、商品開発や企画について

- Q 貴店の近年の売上傾向についてお聞きします。一つ選んでください。
- Q 前問で「1. 増加している」又は「2. やや増加している」と回答された方にお聞きします。売上げが増加した理由と考えられるものを選んでください。（複数回答可）
- Q 今後、貴店が販売したいと考えている商品がありますか。

### ■日持ち性向上に関する取組みについて

- Q 花きの日持ち性を向上させるために重要だと考える項目をお選びください。（複数回答可）
- Q 日持ち性向上の取組みが重要だと考える花きの用途をお選びください。（複数回答可）
- Q 日持ち性向上の取組みが必要だと考える花きの種類をお選びください。（複数回答可）
- Q 日持ち性向上に取り組む上で必要と思われる情報をお選びください。（複数回答可）
- Q 日持ち保証販売について、ご存知ですか。
- Q 前問で、はいを選ばれた方にお聞きします。貴店は、日持ち保証販売に取り組まれていますか。
- Q 前問ですすでに取り組んでいるを選ばれた方にお聞きします。日持ち保証販売に取り組まれている商品は貴店の売り上げの何割位を占めますか。
- Q 日持ち保証販売を実施する場合に必要なと思われる要件をお選びください。（複数回答可）
- Q 日持ち保証販売を実施する上で貴店にとって制限要因と思われる項目をお選びください。（複数回答可）

### ■花きの規格等について

- Q 貴店がお使いになる花きの切り前（採花時の開花ステージ）についてお聞きします。仕入れる際に最も望ましいステージを一つお選び下さい。

### ■各店の独自の取組みについて

## Ⅶ. 日持ち性向上対策セミナー開催の概要

### 1. 東京セミナー

日 時：平成 28 年 8 月 25 日（木）

場 所：会議室八重洲北口（東京都中央区）

参加者：生産者、卸売・仲卸・小売事業者、行政関係者等 40 名

### 2. 静岡セミナー

日 時：平成 28 年 10 月 19 日（水）

場 所：するが花き会議室（静岡市）

参加者：生産者、卸売・仲卸・小売事業者、行政・研究関係者等 33 名

### 3. 大阪セミナー

日 時：平成 28 年 10 月 26 日（水）

場 所：なにわ花いちば会議室（大阪市）

参加者：生産者、卸売・仲卸・小売事業者、行政・研究関係者等 37 名

### 4. 仙台セミナー

日 時：平成 28 年 11 月 16 日（水）

場 所：TKP 仙台カンファレンスセンター（仙台市）

参加者：生産者、卸売・仲卸・小売事業者、行政・研究関係者等 72 名

### 5. 洋らん日持ち性向上セミナー

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）

場 所：サイプレスガーデンホテル金山（名古屋市）

参加者：洋らん生産者、運輸・卸売・小売事業者、行政・研究関係者等 140 名

### 6. 九州セミナー

日 時：平成 29 年 2 月 1 日（水）

場 所：八仙閣（福岡市）

参加者：生産者、卸売・仲卸・小売事業者、行政・研究関係者等 60 名

【参考資料1】

花き日持ち性に関する産地実態調査結果（平成28年度調査）

1. 切花の個人及び団体の調査（回答数：個人85人、団体94団体）

問1 貴産地・団体では、日持ち性向上に取り組んでいますか。  
（個人）

品目	はい	いいえ	わからない	合計
輪菊	8	4	1	13
小菊		3		3
カーネーション	5	2		7
バラ	13	4	5	22
トルコギキョウ	8	7	1	16
スイートピー	4	2		6
球根切花	2			2
その他切花	10	6		14
全体	50	28	7	85

（団体）

品目	はい	いいえ	わからない	合計
輪菊	7	3	4	14
スプレーぎく	9		1	10
小菊	3	1		4
カーネーション	8		2	10
バラ	10	1	5	16
トルコギキョウ	6	2		8
ガーベラ	2			2
カスミソウ	2			2
スイートピー	3			3
ユリ	2	3	2	7
球根切花	3	1		4
切り枝	1	1		2
その他切花	9	3		12
全体	65	15	14	94

問2 上記問1で日持ち性向上に取り組んでいる方の取り組み（複数回答）  
（個人）

品目	取扱基準	MPS社認証	その他	合計
輪菊	8			8
小菊				0
カーネーション	2		3	5
バラ	3	1	8	12
トルコギキョウ	2	1	5	8
スイートピー	1	1	1	3
球根切花	2			2
その他切花	8		3	11
全体	26	3	20	49

（団体）

品目	取扱基準	MPS社認証	その他	合計
輪菊	3	2	3	8
スプレーぎく	4	2	2	8
小菊	3			3
カーネーション	4	2	2	8
バラ	6	1	4	11
トルコギキョウ	6			6
ガーベラ	1	1		2
カスミソウ	2			2
スイートピー	2	1		3
ユリ	1		1	2
球根切花	2		1	3
切り枝	1			1
その他切花	7	1	2	10
全体	42	10	15	67

問3 団体として品種の選択において、日持ち性を重視していますか。  
（個人）

品目	はい	いいえ	わからない	合計
輪菊	10	2	1	13
小菊		3		3
カーネーション	3	3	1	7
バラ	11	8	3	22
トルコギキョウ	6	4	6	16
スイートピー	2	3	1	6
球根切花	1	1		2
その他切花	8	5	3	16
全体	41	29	15	85

（団体）

品目	はい	いいえ	わからない	合計
輪菊	6	1	7	14
スプレーぎく	9	1		10
小菊	2	2		4
カーネーション	4	4	2	10
バラ	8	7		15
トルコギキョウ	6	2		8
ガーベラ	2			2
カスミソウ	1	1		2
スイートピー		3		3
ユリ	3	3	1	7
球根切花	2	2		4
切り枝	1	1		2
その他切花	7	4	1	12
全体	51	31	11	93

問4 日持ち性確保のため栽培方法を申し合わせていますか。  
（個人）

品目	はい	いいえ	わからない	合計
輪菊	6	6	1	13
小菊	2	1		3
カーネーション	3	4		7
バラ	6	14	2	22
トルコギキョウ	3	8	5	16
スイートピー		3	3	6
球根切花	1	1		2
その他切花	6	8	2	16
総計	27	45	13	85

（団体）

品目	はい	いいえ	わからない	合計
輪菊	3	4	7	14
スプレーぎく	5	1	4	10
小菊	3	1		4
カーネーション	3	4	2	9
バラ	1	12	2	15
トルコギキョウ		7	1	8
ガーベラ	1		1	2
カスミソウ	2			2
スイートピー	1	2		3
ユリ	2	4	1	7
球根切花	1	2	1	4
その他切花	10	3	1	14
総計	32	40	20	92

問4 日持ち性確保のため栽培方法を申し合わせている場合の具体的に気をつけている点

(個人)

品目	具体的に気をつけている点
輪菊	水上げ
小菊	採花時間、採花直後の水揚げ 水揚げの徹底
バラ	温度の高さを見ている 採花から水揚げまでの時間短縮 不定期に事務所の花瓶に挿して日持ちをチェック。工耕栽培にこだわりバラを甘やかさず水揚げのよいバラを作る努力をしている。
カーネーション	換気の徹底。市場出荷の選花は厳しく行う。 栽植密度や肥培管理
トルコギキョウ	立毛調整 少肥栽培
球根切花	切り前の等一
その他切花	前処理・水揚げ 前処理の徹底 多肥栽培はしない 有機肥料、石灰の使用 最適な状態で切っている

(団体)

品目	具体的に気をつけている点
輪菊	エスレル散布 生育後半に極端に蒸し込んだりしない 出荷前の水あげの徹底
スプレーぎく	汚れた水は利用しない 採花基準、カルシウム剤使用 木を堅く育てる
小菊	採花の時間 早期の水上げ
バラ	水を入れる前にバケツの洗浄
カーネーション	ストレスを与えにくくする 仕立ての本数 冬場の加温と換気
ユリ	水上げ時間、延命剤使用、縦箱の利用 水あげのよい品種を選ぶ
スイートピー	土壌分析による適正施肥、除湿管理
カスミノウ	ストレスを与えにくくする 切り前の統一、前処理材の使用法の徹底
球根切花	水管理
その他切花	ストレスを与えにくくする(2) 切り前の統一(2) 目揃え会の実施 開花輪数など やせ作り

問5 切花の通常の採花時間(複数回答)

(個人)

品目	早朝	午前中	日中	夕方	その他	合計
輪菊	4	7		1	1	13
小菊	2	1		2		5
カーネーション	4	4				8
バラ	6	9	1	4	6	26
トルコギキョウ	8	6	1	2		17
スイートピー		3	2	1	1	7
球根切花	1	1		2		4
その他切花	9	3	1	4	1	18
全体	34	34	5	16	9	98

問5 切花の通常の採花時間「その他」

(個人)

品目	その他の時間
輪ぎく	早朝より午前中
バラ	朝夕(3) 午前、午後の2回 午前、夕方の2回 1日2回
スイートピー	午後
その他切花	朝または夕方

(団体)

品目	早朝	午前中	日中	夕方	その他	合計
輪菊	9	4	1		1	15
スプレーぎく	4	6			1	11
小菊	2			2		4
カーネーション	2	7		3	1	13
バラ	8	4		3	4	19
トルコギキョウ	4	1		2		7
ガーベラ	1	1				2
カスミノウ	1	1		1		3
スイートピー	2	1				3
ユリ	4	1		1	2	8
球根切花	4					4
切り枝		1			1	2
その他切花	7	3		3	1	14
全体	48	30	1	15	11	105

(団体)

品目	その他の時間
輪菊	統一はしていない
スプレーぎく	ピーク時以外は日中以外
バラ	朝、夕方(2) 早朝と夕方 早朝の採花+品種特性と合わせてもう一度の採花
カーネーション	AM8:00~切り終わるまで。繁忙期は夕方の場合あり
ユリ	早朝と夕方 生産者と時期によって異なる
切り枝	切花の生産なし
その他切花	ピーク時以外は朝夕

問6 採花かから水につけるまでの時間(複数回答)

(個人)

品目	30分以内	30~60分	60分~半日	半日以上	合計
輪菊		1	8	4	13
小菊	1		2		3
カーネーション	1	4	2		7
バラ	17	4	1		22
トルコギキョウ	6	3	7		16
スイートピー	2	3	2		7
球根切花			2		2
その他切花	4	1	9	2	16
全体	31	16	33	6	86

(団体)

品目	30分以内	30~60分	60分~半日	半日以上	合計
輪菊	3	6	9		18
スプレーぎく	1	1	8		10
小菊	2	2			4
カーネーション	1	3	6	1	11
バラ	10	5	1		16
トルコギキョウ	1	4	3		8
ガーベラ		1	1		2
カスミノウ	1		1		2
スイートピー		2	1		3
ユリ	2	4	1	1	8
球根切花	1		2	1	4
切り枝		1			1
その他切花	3	3	5	2	13
全体	25	32	38	5	100

問7 高温期の採花後の管理(複数回答)

(個人)

品目	冷蔵庫	冷房室	常温管理	その他	合計
輪菊	12		1		13
小菊			3	1	4
カーネーション	5	1	1		7
バラ	22				22
トルコギキョウ	1	2	11	2	16
スイートピー		1	5		6
球根切花	2				2
その他切花	7	4	5	3	19
全体	49	8	26	6	89

(団体)

品目	冷蔵庫	冷房室	常温管理	その他	合計
輪菊	11	2	4		17
スプレーぎく	2	2	8	1	13
小菊	1		3		4
カーネーション	6	1	2	1	10
バラ	16		1		17
トルコギキョウ		1	6		7
ガーベラ	2				2
カスミソウ			2		2
スイートピー			2	1	3
ユリ	4	1	1	1	7
球根切花	4				4
切り枝			2		2
その他切花	5	4	6	1	16
全体	51	11	37	5	104

問8 (1) 前処理はしていますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	2	11	13
小菊		3	3
カーネーション	7		7
バラ	16	6	22
トルコギキョウ	14	2	16
スイートピー	6		6
球根切花		2	2
その他切花	14	2	16
全体	59	26	85

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	3	10	13
スプレーぎく	6	4	10
小菊		3	3
カーネーション	9		9
バラ	12	4	16
トルコギキョウ	7	1	8
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	1	6	7
球根切花	3	1	4
切り枝	1	1	2
その他切花	9	3	12
全体	58	33	91

問8 (2)ア 前処理をしている方のみー前処理剤は使用していますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	1	1	2
小菊			0
カーネーション	7		7
バラ	12	4	16
トルコギキョウ	12	2	14
スイートピー	6		6
球根切花			0
その他切花	10	4	14
全体	48	11	59

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	3		3
スプレーぎく	6		6
小菊			0
カーネーション	9		9
バラ	9	3	12
トルコギキョウ	7		7
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	1		1
球根切花	3		3
切り枝	1		1
その他切花	8	1	9
全体	54	4	58

問8 (2)イ 前処理をしている方のみー前処理用のバケツは十分洗浄していますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	2		2
小菊			0
カーネーション	7		7
バラ	15	1	16
トルコギキョウ	14		14
スイートピー	6		6
球根切花			0
その他切花	13	1	14
全体	57	2	59

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	3		3
スプレーぎく	6		6
小菊			0
カーネーション	9		9
バラ	11	1	12
トルコギキョウ	7		7
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	1		1
球根切花	2	1	3
切り枝	1		1
その他切花	9		9
全体	56	2	58

問8 (2)ウ 前処理をしている方のみーバケツの水替えはしていますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	2		2
小菊			0
カーネーション	7		7
バラ	15	1	16
トルコギキョウ	14		14
スイートピー	6		6
球根切花			0
その他切花	13	1	14
全体	57	2	59

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	3		3
スプレーぎく	6		6
小菊			0
カーネーション	9		9
バラ	11	1	12
トルコギキョウ	7		7
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	1		1
球根切花	2	1	3
切り枝	1		1
その他切花	9		9
全体	56	2	58

問8 (2)エ 前処理をしている方のみーバケツの保管場所は清潔ですか。

(個人)

品目	はい	いいえ	どちらとも いえない	合計
輪菊	1		1	2
小菊				0
カーネーション	7			7
バラ	12		4	16
トルコギキョウ	10		4	14
スイートピー	6			6
球根切花				0
その他切花	9	1	2	12
全体	45	1	11	57

(団体)

品目	はい	いいえ	どちらとも いえない	合計
輪菊	3			3
スプレーぎく	6			6
小菊				0
カーネーション	9			9
バラ	9	1	2	12
トルコギキョウ	5		2	7
ガーベラ	2			2
カスミソウ	2			2
スイートピー	3			3
ユリ	1			1
球根切花	1		2	3
切り枝	1			1
その他切花	7		2	9
全体	49	1	8	58

問9 (1) 選花場の清掃は十分にされていますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	12	1	13
小菊	3		3
カーネーション	7		7
バラ	21	1	22
トルコギキョウ	13	3	16
スイートピー	5		5
球根切花	2		2
その他切花	15		15
総計	78	5	83

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	12		12
スプレーぎく	10		10
小菊	4		4
カーネーション	10		10
バラ	16		16
トルコギキョウ	8		8
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	7		7
球根切花	4		4
切り枝	2		2
その他切花	11	1	12
総計	91	1	92

問9 (2) 選花場の温度管理はしていますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊		13	13
小菊		3	3
カーネーション	3	4	7
バラ	10	12	22
トルコギキョウ	4	12	16
スイートピー	1	4	5
球根切花	1	1	2
その他切花	5	9	14
総計	24	58	82

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	2	10	12
スプレーぎく	2	8	10
小菊		4	4
カーネーション	4	6	10
バラ	9	6	15
トルコギキョウ		8	8
ガーベラ		2	2
カスミソウ		2	2
スイートピー	1	2	3
ユリ	5	2	7
球根切花	2	2	4
切り枝	1	1	2
その他切花	3	9	12
総計	29	62	91



問10 ハサミ(又は鎌)について、きれいなハサミ等を使用していますか(複数回答)

(個人)

品目	殺菌	きれいに水洗い	留意していない	合計
輪菊	3	2	8	13
小菊	1	2		3
カーネーション	1	3	3	7
バラ	4	4	15	23
トルコギキョウ	3	5	8	16
スイートピー		2	4	6
球根切花		2		2
その他切花	2	6	6	14
全体	14	26	44	84

(団体)

品目	殺菌	きれいに水洗い	留意していない	合計
輪菊	3	5	6	14
スプレーぎく	2	5	4	11
小菊		4		4
カーネーション	3	5	3	11
バラ	4	2	8	14
トルコギキョウ	1	2	5	8
ガーベラ	1		1	2
カスミソウ		2		2
スイートピー	1	2		3
ユリ	1	3	4	8
球根切花		1	1	2
切り枝		2		2
その他切花	1	7	4	12
全体	17	40	36	93

問11 生産者の保管庫では温度及び湿度調節をしていますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	温度のみ	合計
輪菊	5	2	6	13
小菊		1	2	3
カーネーション	2	1	3	6
バラ	5	1	16	22
トルコギキョウ		11	5	16
スイートピー		5	1	6
球根切花	1		1	2
その他切花	2	3	10	15
全体	15	24	44	83

(団体)

品目	はい	いいえ	温度のみ	合計
輪菊	3	2	7	12
スプレーぎく	1	7	2	10
小菊		4		4
カーネーション	1	1	7	9
バラ	7	1	8	16
トルコギキョウ		8		8
ガーベラ	1	1		2
カスミソウ		2		2
スイートピー		3		3
ユリ	2	1	4	7
球根切花	1		3	4
切り枝	1		1	2
その他切花	2	5	4	11
全体	19	35	36	90

問12 採花後の滞留日数について該当するものを選んでください(複数回答)

(個人)

品目	1日未満	1日から2日	2日から3日	3日以上	種類によって	合計
輪菊	1	10	2			13
小菊	1	1	1			3
カーネーション	2	5				7
バラ		8	13	1		22
トルコギキョウ	3	10	3			16
スイートピー	5	2				7
球根切花		1	1			2
その他切花	4	9	3		1	17
総計	16	46	23	1	1	87

(団体)

品目	1日未満	1日から2日	2日から3日	3日以上	合計
輪菊	1	10	4		15
スプレーぎく	1	7	2		10
小菊		4			4
カーネーション	2	8	2	1	13
バラ		6	9		15
トルコギキョウ	1	7			8
ガーベラ	1	1			2
カスミソウ	1	1			2
スイートピー	3				3
ユリ	1	5			6
球根切花		3	1		4
切り枝		1	1		2
その他切花	2	8	1		11
総計	13	61	20	1	95

問13 生産者の段階で出荷前冷蔵(予冷)をしていますか(複数回答)  
(個人)

品目	3時間以上	3時間未満	していない	高温時はする	種類によって	合計
輪菊	5		8			13
小菊			3			3
カーネーション	3		3	1		7
バラ	18		4			22
トルコギキョウ			16			16
スイートピー			6			6
球根切花	1	1				2
その他切花	6		9		1	16
総計	33	1	49	1	1	85

(団体)

品目	3時間以上	3時間未満	していない	合計
輪菊	8	2	5	15
スプレーぎく	1		9	10
小菊	1		3	4
カーネーション	6		4	10
バラ	14		1	15
トルコギキョウ			8	8
ガーベラ	2			2
カスミンソウ			2	2
スイートピー			3	3
ユリ	3	1	1	5
球根切花	2	1	1	4
切り枝			2	2
その他切花	3	2	8	13
総計	40	6	47	93

問14 湿式流通の場合、農協などへの輸送時の切り花栄養剤は使用していますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	1	12	13
小菊		3	3
カーネーション		4	4
バラ	12	8	20
トルコギキョウ	4	11	15
スイートピー		5	5
球根切花			0
その他切花	3	7	10
総計	20	50	70

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊		10	10
スプレーぎく		4	4
小菊		3	3
カーネーション	2	2	4
バラ	9	5	14
トルコギキョウ	6	2	8
ガーベラ		1	1
カスミンソウ	2		2
スイートピー		2	2
ユリ	2	2	4
球根切花		3	3
切り枝	1	1	2
その他切花	5	7	12
総計	27	42	69

問15 農協などの出荷所までの輸送条件についてお教えてください(複数回答)

(個人)

品目	温度管理をしている	温度管理をしていない	遮光している	遮光していない	合計
輪菊	1	9	5		15
小菊		3		1	4
カーネーション	1	5	2	2	10
バラ	9	8	3		20
トルコギキョウ	2	10	6		18
スイートピー		6	3	1	10
球根切花		2		1	3
その他切花	3	11	5	2	21
総計	16	54	24	7	101

(団体)

品目	温度管理をしている	温度管理をしていない	遮光している	遮光していない	合計
輪菊	2	9	4	2	17
スプレーぎく		8	4	2	14
小菊		3	1		4
カーネーション	1	4	5		10
バラ	8	4	3		15
トルコギキョウ	1	4	4	1	10
ガーベラ		2	2		4
カスミンソウ		2	1		3
スイートピー	1		2		3
ユリ		6	2	1	9
球根切花		3	1	1	5
切り枝		2			2
その他切花	1	8	3	1	13
総計	14	55	32	8	109

問16 出荷に際し、採花日は記載していますか。

(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	3	9	12
小菊		3	3
電照菊		1	1
カーネーション		7	7
バラ	2	20	22
トルコギキョウ	1	15	16
ガーベラ	1	1	1
スイートピー	2	4	6
球根切花		2	2
切り枝		1	1
その他切花	1	13	14
総計	9	76	85

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊		12	12
スプレーぎく		9	9
小菊	1	3	4
電照菊		2	2
カーネーション	2	8	10
バラ	1	15	16
トルコギキョウ	1	7	8
ガーベラ		2	2
カスミンソウ		2	2
スイートピー		3	3
ユリ		7	7
球根切花		4	4
切り枝	1	1	2
洋らん		1	1
その他切花		9	9
不明		1	1
総計	6	86	92

問17 (1) クレームを受ける連絡先の情報を記載していますか。  
(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	11	2	13
小菊	1	2	3
カーネーション	3	4	7
バラ	6	16	22
トルコギキョウ	7	9	16
スイートピー	6		6
球根切花	2		2
その他切花	7	8	15
総計	43	41	84

問17 (2) クレームがあった場合、原因を調査していますか。  
(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	12	1	13
小菊	3		3
カーネーション	6	1	7
バラ	16	6	22
トルコギキョウ	13	3	16
スイートピー	5	1	6
球根切花	2		2
その他切花	11	5	16
総計	68	17	85

問17 (3) 農薬、肥料等の使用履歴は記録していますか。  
(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	3	10	13
小菊	2	1	3
カーネーション		7	7
バラ	11	11	22
トルコギキョウ	6	10	16
スイートピー	2	4	6
球根切花	1	1	2
その他切花	6	10	16
総計	31	54	85

問17 (4) 出荷団体として管理方法等について市場等に情報発信はしていますか  
(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	7	6	13
小菊	2	1	3
カーネーション	2	5	7
バラ	3	19	22
トルコギキョウ	2	14	16
スイートピー		6	6
球根切花	2		2
その他切花	9	7	16
総計	27	58	85

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	7	6	13
スプレーぎく	7	3	10
小菊	1	3	4
カーネーション	6	4	10
バラ	10	6	16
トルコギキョウ	3	5	8
ガーベラ	2		2
カスミソウ	1	1	2
スイートピー	2	1	3
ユリ	5	2	7
球根切花	3	1	4
切り枝	1	1	2
その他切花	9	3	12
総計	57	36	93

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	12	1	13
スプレーぎく	8	2	10
小菊	3	1	4
カーネーション	10		10
バラ	15		15
トルコギキョウ	6	2	8
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	7		7
球根切花	4		4
切り枝	2		2
その他切花	11	1	12
総計	85	7	92

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	4	10	14
スプレーぎく	2	8	10
小菊		4	4
カーネーション	3	7	10
バラ	8	8	16
トルコギキョウ	4	4	8
ガーベラ		2	2
カスミソウ	1	1	2
スイートピー	1	2	3
ユリ	2	4	6
球根切花	3	1	4
切り枝	1	1	2
その他切花	5	7	12
総計	34	59	93

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	6	8	14
スプレーぎく	4	6	10
小菊	2	1	3
カーネーション	5	5	10
バラ	6	10	16
トルコギキョウ	1	7	8
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	5	2	7
球根切花	2	2	4
切り枝	1	1	2
その他切花	8	4	12
総計	47	46	93

問18 (1) 切り前の目安を定めていますか。  
(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	11	2	13
小菊	3		3
カーネーション	5	2	7
バラ	16	5	21
トルコギキョウ	12	4	16
スイートピー	5	1	6
球根切花	2		2
その他切花	8	8	16
総計	62	22	84

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	10	2	12
スプレーぎく	10		10
小菊	4		4
カーネーション	8	2	10
バラ	7	7	14
トルコギキョウ	7	1	8
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	7		7
球根切花	4		4
切り枝	1	1	2
その他切花	11	1	12
総計	76	14	90

問18 (1) 切り前の目安を定めている場合の目安  
(個人)

品目	目揃え会で	花芽の色・大きさ等	季節により変わる	市場との調整	自分なり	その他	合計
輪菊	11						11
小菊	3						3
カーネーション	3		1	1			5
バラ	10			1		3	14
トルコギキョウ	5				1		6
スイートピー	2						2
球根切花	2						2
その他切花	3	1		1			5
総計	39	1	1	3	1	3	48

(団体)

品目	目揃え会で	図・写真で	目揃え会と図・写真で	時期により	長年の経験で	合計
輪菊	8		2			10
スプレーぎく	9		1			10
小菊	2		1		1	4
カーネーション	4		2			6
バラ	3		1	1		5
トルコギキョウ	5	1				6
ガーベラ	1		1			2
カスミソウ	1		1			2
スイートピー		1	2			3
ユリ	5		1			6
球根切花	2		2			4
切り枝						0
その他切花	7		3			10
総計	47	2	17	1	1	68

問18 (2) 季節によって切り前を変えますか。  
(個人)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	11	2	13
小菊	1	2	3
カーネーション	6	1	7
バラ	21		21
トルコギキョウ	14	2	16
スイートピー	3	3	6
球根切花	2		2
その他切花	10	6	16
総計	68	16	84

(団体)

品目	はい	いいえ	合計
輪菊	10	2	12
スプレーぎく	8	2	10
小菊	2	2	4
カーネーション	10		10
バラ	16		16
トルコギキョウ	5	2	7
ガーベラ	2		2
カスミソウ	2		2
スイートピー	3		3
ユリ	6	1	7
球根切花	4		4
切り枝	1	1	2
その他切花	12		12
総計	81	10	91

## 2. 鉢物の調査（個人回答数:350人）

問1 貴農場は、鉢物の日持ち性向上に取り組んでいますか。

品目	はい	いいえ	わからない	合計
シクラメン	65	4	3	72
草花類	58	6	7	71
花壇用苗物	51	10	8	69
洋らん	56	4	6	66
観葉植物	32	6		38
花木類	21	2		23
多肉植物	9	2		11
全体	292	34	24	350

問2 上記問1で「取り組んでいる」と答えた方は、どのような取り組みか。（複数回答）

品目	出荷基準	栽培管理	土作り	肥料	タグ	その他	合計
シクラメン	16	37	19	42	28	4	146
草花類	19	27	18	39	25	5	133
花壇用苗物	18	18	12	34	8	4	94
洋らん	19	45	1	11	20	5	101
観葉植物	14	16	12	18	5	3	68
花木類	11	5	4	8	4	2	34
多肉植物	3	3	3	3	5	3	20
全体	100	151	69	155	95	26	596

問3 品目や品種の選択において日持ち性を重視していますか。

品目	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	合計
シクラメン	27	15	29	1	72
草花類	40	7	24	0	71
花壇用苗物	36	9	22	2	69
洋らん	49	3	14	0	66
観葉植物	16	6	16	0	38
花木類	8	0	15	0	23
多肉植物	8	1	2	0	11
全体	184	41	122	3	350

問4 栽培方法を決定する際に日持ち性を重視していますか。

品目	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	合計
シクラメン	45	5	21	1	72
草花類	31	8	30	2	71
花壇用苗物	21	12	35	1	69
洋らん	46	6	13	1	66
観葉植物	19	8	11	0	38
花木類	7	0	16	0	23
多肉植物	8	1	2	0	11
全体	177	40	128	5	350

問5 ハウス(圃場)の清掃は十分に行っていますか。

品目	はい	いいえ	どちらとも いえない	合計
シクラメン	47	3	22	72
草花類	38	9	24	71
花壇用苗物	34	7	28	69
洋らん	48	4	14	66
観葉植物	18	8	12	38
花木類	12	2	9	23
多肉植物	5	1	5	11
全体	202	34	114	350

問6 出荷時間について(複数回答)

品目	午前中	日中	夕方	特に決めていない	運送業者が取りに来る時	その他	合計
シクラメン	21	7	7	10	29	2	76
草花類	19	4	7	21	22	1	74
花壇用苗物	20	3	11	14	16	5	69
洋らん	14	1	10	12	29	5	71
観葉植物	17	4	3	6	8	2	40
花木類	13	1	1	1	6	2	24
多肉植物	3	0	0	4	4	0	11
全体	107	20	39	68	114	17	365

問7 出荷咲き前について(複数回答)

品目	基準を決めている	市場の要望による	その他	合計
シクラメン	40	30	3	73
草花類	37	32	3	72
花壇用苗物	26	42	4	72
洋らん	38	27	4	69
観葉植物	13	18	7	38
花木類	8	18	1	27
多肉植物	2	7	1	10
全体	164	174	23	361

問8 出荷方法について(複数回答)

品目	自ら市場へ持込む	共同出荷センターへ持込む	卸売市場が集荷に来る	運送業者を自ら手配し市場に持込む	その他	合計
シクラメン	20	5	39	19	9	92
草花類	11	34	18	20	19	102
花壇用苗物	40	6	28	13	10	97
洋らん	26	6	23	28	5	88
観葉植物	3	12	17	3	10	45
花木類	1	7	7	7	5	27
多肉植物	1	4	2	1	4	12
全体	102	74	134	91	62	463

問9 出荷時の温度管理について(複数回答)

品目	常温輸送	低温輸送	その他	合計
シクラメン	66	2	4	72
草花類	64	1	6	71
花壇用苗物	69	0	0	69
洋らん	44	17	4	65
観葉植物	37	0	2	39
花木類	22	0	1	23
多肉植物	10	0	1	11
全体	312	20	18	350

問10 問9で「低温輸送」を選ばれた方-出荷前予冷は行っていますか。

品目	行なっている	行なっていない	合計
シクラメン		2	2
草花類	1		1
洋らん	9	7	16
全体	10	9	19

問11 高温期の出荷前管理について(複数回答)

品目	冷房で生産管理	常温で生産管理	蒸れない肥培管理	蒸れない出荷資材の利用	出荷前に冷房室に入れる	その他	合計
シクラメン	1	46	2	2	1	13	65
草花類	4	55	7	6	2	7	81
花壇用苗物	0	62	5	3	0	1	71
洋らん	36	16	5	2	1	7	67
観葉植物	2	23	4	4	0	6	39
花木類	0	20	2	2	0	1	25
多肉植物	0	10	4	0	0	0	14
全体	43	232	29	19	4	35	362

問12 県内に鉢物集出荷施設はありますか。

品目	ある	ない	合計
シクラメン	22	41	63
草花類	58	10	68
花壇用苗物	20	28	48
洋らん	15	33	48
観葉植物	25	13	38
花木類	15	8	23
多肉植物	8	3	11
全体	163	136	299

問13 問12で集出荷施設があると答えた方-施設を利用していますか。

品目	利用している	利用していない	合計
シクラメン	14	8	22
草花類	52	5	57
花壇用苗物	10	9	19
洋らん	7	5	12
観葉植物	24	1	25
花木類	12	3	15
多肉植物	8		8
全体	127	31	158

問14 出荷の荷姿について(複数回答)

品目	トレー・パレット	段ボール箱	その他	合計
シクラメン	66	15		81
草花類	65	24		89
花壇用苗物	67	6		73
洋らん	13	58	1	72
観葉植物	29	13	4	46
花木類	15	10	1	26
多肉植物	10	6		16
全体	265	132	6	403

問15 鉢物の管理に関する情報発信はしていますか。

品目	している	していない	合計
シクラメン	33	39	72
草花類	37	34	71
花壇用苗物	20	49	69
洋らん	43	21	64
観葉植物	19	19	38
花木類	12	11	23
多肉植物	8	3	11
全体	172	176	348

問16 鉢物の管理に関する情報発信をしている方—  
 どのような方法で誰に向けて発信しているか(複数回答)  
 (発信方法)

品目	リーフレット・ タグの添付	ホームページ	ラジオ・テレビ	その他	合計
シクラメン	27	9		4	40
草花類	30	12		3	45
花壇用苗物	12	5		3	20
洋らん	30	21		3	54
観葉植物	14	5		3	22
花木類	9	1	1	2	13
多肉植物	6	4		2	12
全体	128	57	1	20	206

(2) 発信対象

品目	消費者	小売店	卸売市場 ・仲卸	合計
シクラメン	28	5	3	36
草花類	35	3	4	42
花壇用苗物	13	3	6	22
洋らん	33	8	14	55
観葉植物	13	5	4	22
花木類	9	1	1	11
多肉植物	7	1	1	9
全体	138	26	33	197

問17 (1) クレームを受ける連絡先の情報を記載していますか。

品目	はい	いいえ	合計
シクラメン	27	45	72
草花類	24	46	70
花壇用苗物	10	58	68
洋らん	33	33	66
観葉植物	10	28	38
花木類	8	15	23
多肉植物	5	6	11
全体	117	231	348

問17 (2) クレームがあった場合、原因を調査していますか。

品目	はい	いいえ	合計
シクラメン	64	6	70
草花類	60	10	70
花壇用苗物	62	3	65
洋らん	54	11	65
観葉植物	36	2	38
花木類	23		23
多肉植物	10	1	11
全体	309	33	342

問17 (3) 農薬、肥料等の使用履歴は記録していますか。

品目	はい	いいえ	合計
シクラメン	50	22	72
草花類	52	17	69
花壇用苗物	39	29	68
洋らん	33	33	66
観葉植物	21	17	38
花木類	16	7	23
多肉植物	6	5	11
全体	217	130	347



問17 (4) 栽培管理方法等の情報発信はしていますか。

品目	はい	いいえ	合計
シクラメン	17	55	72
草花類	25	45	70
花壇用苗物	10	58	68
洋らん	35	28	63
観葉植物	12	26	38
花木類	5	18	23
多肉植物	5	6	11
全体	109	236	345

問18 出荷基準について定めたものがあれば、ご提供ください。

品目	品質基準
シクラメン	11月中旬以降咲かせ気味、それ以前には輪数少なめ(早め)の出荷
	シクラメン4寸開花10輪、5寸20輪程度
	株と鉢のバランス
	株の大きさ、花立ち
	咲き前20輪程度、株の大きさは鉢の大きさ程度 輪数10~20
草花類	花立ち、株張り
	春夏は花が咲くのが早いのでかため、冬は咲いたものを出荷する
	背高がそろっている、きれいに咲いている
花壇用苗物	コスモスなどの長さ
	高さ、株張り
	自分が買いたいと思える商品
	虫等食害がないもの等病気等も
洋らん	A品、B品を自分基準で分ける
	よせ植えをして根付いたもの
	花の大きさ、キズの有無、花シミの有無
	花の大きさ、リン数、貴重・珍種等
	市場→開花して、小売→苗
	七分咲きでの出荷
	出荷箱に輪付数で表示
	販売店の要望
蕾2~3輪で出荷	
観葉植物	高さ(鉢の大きさによって)
	高さ、幅、開花状態
	小売で花が開く前、形見ながら
	大きさ、ボリューム 鉢とのバランス
花木類	3分咲きで鉢に水を十分与えて出荷する
	9月末~3月末まで出荷
	二分咲、三分咲、五分咲、満開、鉢より大きい株 鉢物の出荷基準は何とも言えない

## 【参考資料2】

### 量販店・ホームセンターおよび葬祭業者が求める 花の規格・品質に関する調査結果 (ヒアリングサマリー)

ヒアリングにご協力いただいた企業は次の通りです。(敬称略、アイウエオ順)

株式会社カインズ  
有限会社カトレア  
株式会社ジョイフル本田  
株式会社東光フローラ  
株式会社八芳園グループ総本社  
株式会社フランテッセ  
株式会社ユー花園  
株式会社リベント

#### 1. 調達先

##### <産地>

- できるだけ国産ものを仕入れたいが、販売価格とのバランスによって輸入品を選択している。
- 輸入品のほうが品質が安定しており、品種によっては国産を上回っている。
- 国産の場合、産地間で品質のバラツキがあるため、品質管理上の理由から、代表的な品種は産地をひとつに決めている。
- 安定した価格と品質のものを大量に調達するために、産地と直接契約している。
- 計画栽培ができていれば、産地からの供給が安定するはず。まとめて買い続けるニーズがある以上、産地には対応してほしい。

- バラは国産にこだわって購入。とくに価格にこだわらないときは国産。
- 品目によっては100%産地で調達。輪菊は9割以上愛知県の産地から直接調達している。
- 年末年始の産地は、日持ちのするものにして、輸入品を極力使わず国産にしている。年末28日の仕入れから、千両は常温で3週間、菊なら4週間日持ちするようなものを仕入れている。
- 店頭で冷蔵庫がないため、常温でも日持ちがするような商品・産地を選んでいる。
- 国産にこだわっているが、冬場は価格的なこともあり輸入を仕入れる。主力商品はできるだけ産地にこだわりたい。
- 仕入れの半分は輸入物。特にカーネーション(コロンビア)は品質が良い。バラも輸入品にシフトしてきているが、これはお客さまの好みが変わったため。咲いているように見えてボリュームもあるため半分は輸入品になっている。
- 「母の日」付近は輸入物が端境期のため、国産のカーネーションを仕入れている。
- 輸入品のほうが品質が安定しているため、カーネーションの白は99%、胡蝶蘭も95%、輸入品を仕入れている。バラ、トルコキキョウも多い。菊も、ニーズにあったものがある。

れば、輸入に切り替える可能性がある。

- 中国から、欲しい規格の菊が輸入されて、品質もともなっていれば、今後は、場合によっては買う可能性がある。
- 前は産地にこだわらなかったが、今は、産地など仕入れ先にこだわっている。花の産地が複数になった場合、鮮度が悪くてダメだった時の原因がわからなくなるため、代表的な品種は産地をひとつに決めるようになった。
- 安定した価格・品質のものを大量に調達するために産地と契約している。またニーズを伝えることによって品質も向上する。
- 国産ものでは、手をかけている農家さんとそうではない農家さんとの差が大きい。優先すべきは計画栽培であり、産地切り替えに依るもの以外、端境期があることのほうがおかしいのではないか。
- まとめて買い続けるニーズがある以上、産地からの供給を安定して行ってほしい。
- 一定基準以上の品質の商品をそろえるには産地とつながりを持たないと売り場を維持することができない。小売側が産地を見て、生産者も小売りの現場を見るべき。

#### <市場>

- 一年中、どんな花も揃っているため、大田市場中心に仕入れている。
- 大田市場では在宅セリもあるため便利だが、直接花を見られないため、リスクも高い。
- 規格が統一されれば、市場ですべて調達できるようになるかもしれない。

- 東洋最大級の大田市場の規模の大きさ、ほかにない品揃えが魅力。「オランダから直輸入」とか「赤字だけど仕入れた」といった物語のある花がおいてある。
- 大田市場はなんでも揃っているので使いやすい。情報も多い。
- 大田市場内から月・水・金の3回仕入れ。国産ものを中心に仕入れている。
- 月曜はユリ・グラジオラスなど硬いもの、水曜はバラ・アルストロメリア・トルコキキョウ、金曜は草花系や茎の細いものなどを仕入れている。週に3回仕入れに行くのは負担が大きいので、妥協をどこでするかは花屋であればだれもが考えていると思う。
- チューリップ、スイートピー、桜以外は、一年中、大田市場に揃っている。輸入物もあるため、季節外れの花のオーダーがあっても困ることはない。
- 仕入れボリュームが大きいので、それに対応できる産地との取引を、市場を通して行っている。品質を重視し、白菊は90パーセント、愛知県農協のものを市場を通じて仕入れている。
- 大田市場はネット経由でセリに参加（在宅セリ）。仕入れた花は当日配送される。しかし、商品を直接みられないためリスクが高い。在宅セリで買った鮮度の悪い商材は、写真を撮って市場に送り、再度価格交渉する。
- 市場と産地の両方から調達。
- 産地によって規格が異なるため、統一基準がない。統一基準があればわかりやすくなり、市場ですべて調達できるようになるかもしれない。
- 苗ものは各地に契約農家に生産委託。そのほかに鴻巣・豊明の2か所の市場から仕入れている。

## <その他>

- ❑ 産地表示のPOP、産地での生産情報などを説明したりすると、売上アップの傾向がある。お客さまのリピート率向上にもつながる。
- ❑ 単価の上昇は小売りの現場には痛いので、市場や産地での努力も期待したい。野菜の高騰は納得してもらえても、花の価格が上がることへの理解は、お客さまからほとんど得られない。
- ❑ 造花のクオリティが高まっているため、造花で対応できる部分は置き換える方向になってきている。また、染色やラメなどの半加工品の動きも良い。

- 店頭では、できるだけ産地と品種をアピールしている。産地説明などをすると売上げが増える。
- 切花は単体で売ることが少ないため、産地表示は店頭のPOPでアピールするようにしている。こだわりをもった売り場をつくることで、お客さまのリピート率も上がってくると考えている。
- 直接契約している産地の場合、POPやシール等でアピールしている。
- セールストックになるような生産者や産地、花の情報が欲しい。
- 品質や規格よりも、なぜこの形に育ったのか、という情報のほうが重要。規格が良くなくても経験でなんとかなるので、生育の違いとか産地ごとの特徴などが情報としてほしい。
- ギフトを売るためには技術力はもちろん、生産者さんから得た情報を掲示して、お客さまとの会話のひろがりの材料にしたい。生産者の人柄や取組を話すことができれば、次につながりやすい。
- 仕入れ単価が高騰しても、欠品させないように仕入れる場合がある。単価の上昇は小売りの現場には痛いので、市場や産地での努力も期待したい。
- 消費者は野菜の価格には敏感で、価格が上がっても相場と連動していることを受け入れてくれるが、花は難しい。高いと売れない。
- ソープフラワーの人気の高いため、ネット販売用に仕入れている。ソープフラワーは生花ではないが香りがあり、プリザーブドフラワーより割安。人気があり、販売は好調。
- アレンジメントのグリーンを造花にしてボリューム感を出すようなことも検討している。コストを変えずに付加価値をアップする方策のひとつ。
- 造花のクオリティがすごくよくなっているため、低価格で、生花ではない花（造花）を生かしたプランを検討している。
- お客さまニーズのトレンドとして、染色していたりラメがついていたりする加工された花の人気の高くなっている。手に取る方が増えていて、抵抗がなくなっている。青いバラやレインボーローズなど。年末には葉ボタンの染色ものがよく売れていた。色がきれいで目立つため、店頭で手に取りやすいのではないかな。

## 2. 基準

### <長さ>

- 婚礼は 40 センチで十分。
- 葬儀用の菊は 75 センチが使いやすい。
- パッケージされた商品は単価に応じて長さを変えているが、使いやすい長さは 60 センチ前後。
- 長さとお価格が比例しているため、長さがなくても高品質なものを仕入れるようにしている。

- 婚礼で利用する花は 40 センチで十分。移動コストも低く、冷蔵庫での管理も楽。前から思っていた。
- 婚礼には国産の 40 センチのバラを使うが、50 センチないと顔（花の大きさ）が育たないものもあるので、種類によって長さは選択する。
- 菊は 75 センチあればよく、短くなれば出荷回転率が上がるため、単価は下がるはずと産地に伝えているが、かなり難しい。また、単価が安くなることを産地は受け入れられない。
- お客様が使用する長さ（ニーズ）に応じて調整しており、長ければ良い、というわけではない。
- 380 円は 60 センチ、580 円は 70 センチを目安に作っている。他社より 10 センチは長い。持ち帰ったあとに水切りすることを前提にしている。
- すべてアレンジメントにしてしまうため、規格にこだわることはない。むしろ、今あるサイズ・規格をそのまま利用している。
- 長さがないと日持ちがしないということはない。
- 長いものが良いものという見方はあったが、丈が短くても高品質な価値がたかいもの、たとえばトルコキキョウのようなものは茎がしっかりしていて花が咲き続けられるようなもので価格が抑えられるのであれば、そういう商品を補って仕入れるようにしている。とくにアレンジ向けのものとして。
- 長ければ良い、というわけではない。契約産地に直接要望を伝えることで、できるだけ適切な規格にしてもらっている。

### <規格・その他>

- 上位等級を仕入れることで、常温売り場でも日持ちするようにしている。「この花は日持ちが良い」と感じてもらえる。
- 規格は、使用目的にあったものを仕入れている。仏壇に飾るのか、お墓に供えるものかによって品質は変えている。

- 上位等級の品質の商品をいち早く店頭にだすことによって、購入者が「この花は日持ちが良い」と感じてもらえるような仕入れを心がけている。
- 小菊はボリュームのあるもの、輪菊は 2 L を中心に扱っているが、仏花でも仏壇に飾るのか、お墓に供えるものかによって品質は変えている。

- 年齢の高い生産者は品評会向けの仕入れ値 100 円の商品をつくりたがる。しかしお客さまには、70 円で仕入れられるような商品でも満足していただける事も多い。
- 規格は、使用目的にあったものを仕入れている。特に決め手となるものはなく、マーケティングによる。

### 3. 品質

- 婚礼・葬儀は、当日 8 分咲き以上の完成品を会場に持ち込むようにしている。開花調整も行う。
- 店頭売りの場合、品質の基準は販売の場所や管理の仕方によって異なるが、中の上より上の品質が求められている。

- できるだけ上位等級の品質の商品を仕入れることで、常温売り場でも日持ちする切花を販売している。
- 一本売りとパッケージ商品の両方に使えるような、中の上程度の品質のものを仕入れている。
- 開いてしまった花は、日持ちの必要がない墓参り用にパッケージして販売する。
- 輸入品のほうが品質が安定して良い。
- 週末の婚礼に合わせて、月曜は 3 分咲き、水曜は 5 分咲きの花を仕入れて当日 9 分咲きになるように準備している。5 日間から 1 週間日持ちすれば十分。
- 婚礼の場合 1 週間も持てばよい。5 分咲きで仕入れて週末に 9 分咲きになるようにしている。
- 最大でも一泊二日、26 時間程度持てば良いため、8 分咲きの完成品を葬儀場に持ち込んでいる。ユリなどは開花調整を行い、開いている状態に持って行く。

### 4. クレーム

- 花へのクレームはほとんどない。
- 受付方法などは決まったルールはない。

- お祝い事のため、日持ち含めてクレームはほとんどない。
- めったにクレームはないが、クレームは国産のほうが多い。輸送時に原因がある。
- 花の品質に関するクレームはほとんどない。
- 事前の打ち合わせを十分に行っているため、お客さまの満足感が強く、お客さまからのクレームは全くない。
- 翌日しおれたというような日持ちに関するクレームはほとんどない。ギフト性が高いのももらった方からのクレームはない。母の日は逆に親子関係なので言いやすいためかクレーム率が高い。

## 5. 廃棄

- 店頭で並んで4日～5日程度で値下げを行い、できるだけ売り切るようにしている。
- 花卉にシミがでたり、葉の色が変わったりしたタイミングで廃棄する。
- また、店員が自分で買うかどうか、が廃棄の基準。
- 婚礼や葬儀では、調達をぎりぎりの数量にしているため、廃棄率はかなり低く、ゼロに近い。

- 廃棄の基準として日付で判断する。仕入れから5日目を目安に水揚げ、またはリパックするなどして格下げし、セール品に回す。廃棄率は10パーセント程度。
- 切花は店頭で並べて販売日数を決めて値下げを行っており、再値下げも行い、できるだけ売り切るようにしている。
- 店員が自分で買うかどうか、が廃棄の基準。値下げ品を再パッケージするということは基本的に行っていない。人件費を考えると廃棄するほうが効率的。
- 花卉にシミがでたり、葉の色が変わったりしたタイミングで廃棄するが、廃棄する前にいったん本店に戻す。どの商品がダメになったのか確認するため。
- 鮮度が落ちたものは一束100円のセール品にしたり、一本売りの花を買うお客さまにサービスでつけたりする。スプレーのお花は分解してアレンジに使うなど。
- 婚礼はオーダーメイドのため廃棄はほとんどない。調達をぎりぎりの数量にしているため、廃棄率はかなり低く、ゼロに近い。廃棄は目視で確認してから。
- 量販店は年中無休で営業時間が長いこともあり、多店舗展開すればするほど、様々な点でロスが多い。
- 冷蔵庫に入っていて見た目はきれいでも、仕入れてから5日くらいたったものは、クール便で配送しても到着時に花卉が落ちてしまったり、枯れてしまうことがあるので、経験値で廃棄している。

## 6. 鮮度管理に関する取組

- 延命剤や水揚げ剤は、必要に応じて使用し、品種や季節などに応じて使い分けている。
- 延命剤を使うことに抵抗感を感じたり、コスト面から使用を控えていたり、ということもある。
- 水に浸かっている部分は腐敗しやすいため、桶の水をできるだけ少なくする。
- お客さまが直接手に取るため、セロハンにまくなどして劣化を防ぐ努力をしている。パッケージ（スリーブ）に機能性フィルムを使用するなど。
- 店舗数が多い場合「誰でもできるように」鮮度管理等のマニュアルを作成し、店舗に管理を任せている。

- 「クリザールフレッシュミスト」というスプレータイプ鮮度保持剤をよく使う。中毒になっていると思う。
- 水に入れてつかう鮮度保持剤は、アジサイは絶対につかうが、それ以外は経験値で判断し、使ったり使わなかったり。

- 湯上げ、真水での水揚げ、クリザールやRun（ルン）などを水揚げ剤として使用する水揚げなど、様々なやり方で花の鮮度保持に努めている。
- 洋花は延命剤、菊は漂白剤（塩素）、真水を使用するなど、花を選んで使用。
- 季節によって延命剤を使用。パッケージの場合は、水揚げ剤を加工時に使用することもある。
- 季節によって水替えのタイミングや水きりの回数を変えている。
- 「お花の楽園」のタンクを水道につけて社内で利用。一定の割合にすることが可能となった。
- 桶にもクリザールを使用。本当は毎日水を変えればよいのだが、人手がないため。しかし、販売後はクリザールのない環境になるため、花の鮮度という点では、店頭の桶ではクリザールを使用しない方がよいのかもしれない。
- 品目によって向き不向きがあるため、多少の抵抗はあるが、延命剤を使用している。
- 延命剤のブランドによっても向き不向きがあるため、複数の延命剤を使用していくことも今後は検討していきたい。
- 繁忙期には価格が高くなるため、少し早めに仕入れて技術力で生かしておいて、販売・納品から1週間は持つような鮮度管理を行っている。
- 水に浸かっている部分は腐敗しやすいため、桶の水はできるだけ少なくしている。
- 早く回転させること。品質、価格、販促、売り込みのためのイベント展開などを重視している。
- お客さまが直接手に取るため、セロハンにまくなどして劣化を防ぐ努力をしている。
- パッケージ（スリーブ）に機能性フィルムを使用。
- お客さまが持ち上げて手を放した段階で水に浸かっていないことも多いため、水に浸かっているかどうか売り場担当者が管理するよう促している。
- 店舗数が多いため、「誰でもできるように」鮮度管理等のマニュアルを作成して、チェック事項をつくり、店舗ごとに管理。数値データの裏付けがあるため、自信をもってマニュアルの徹底を指示できる。店舗での教育効果が出てきている。

## 7. 切り花の購入者への対応

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 水替え、水切りなどを口頭で案内したり、POPやチラシで延命剤を使用することを推奨したりしている。</li> <li>□ お客さまが水切りすることを前提に、通常より10センチ程度長くしている。</li> </ul> |
|---|

- バクテリアが水が詰まらせることもあるため、毎日水替えしてください、少しずつカットしてください、とお願いしている。また花瓶も毎日洗ってもらうなど、口頭で伝えている。
- 延命剤を渡すが、使い方を知らないお客さまが多いので、延命剤のつかい方を教えている。
- 切花栄養剤をつけており、店頭POPやチラシで、延命剤を使用することを推奨。



- 持ち帰ったあとに水切りすることを前提に、10センチほど長めにしている。580円は70センチ、380円は60センチが基準。しかし、お客さまに対して、水切りをするように案内はしていない。

## 8. 日持ち保証販売

### <行っていない>

- 販売担当者が素人のため、スーパー業界にとってはありがたい制度だと思うが、個体差や環境差が大きいいため、花にはなじまないのではないか。
- 5日間程度なら日持ちして当たり前なので、品質の高い花を仕入れている。

- 販売担当者が素人のため、スーパー業界にとってはありがたい制度。しかし個体差や環境における差が大きいいため、花にはなじまないのではないか。
- 5日間の品質保証のようなものは意味がない。日持ちして当たり前であり、日持ち保証を押さないと売れないような花を仕入れる意味がない。品質の高い商品を仕入れることが鮮度につながる。

### <行っている>

- 「Relay Freshness（品質管理認証）」マークを26店舗で取得、実施。チルド物流ができる店舗・エリアの千葉・埼玉・東京中心。
- 切花の日持ち保証販売は販売後5日間。
- 鮮度管理の延長に日持ち保証販売がある。
- 店舗の運用管理体制を整える必要があり、日持ち保証販売制度が、社内マニュアル作りに役立った。

- 農水省から付与される「Relay Freshness（品質管理認証）」マークを26店舗で取得、実施。
- チルド物流ができる店舗・エリアで実施している。千葉・埼玉・東京中心。
- 切花の日持ち保証販売は販売後5日間としている。
- 鮮度管理の延長が日持ち保証販売。店舗が責任をもって管理してもらえるようになったことがプラス。店舗のスキルアップにつながっている。
- 多店舗展開していると、店舗の運用管理体制を整える必要があり、それに対して日持ち保証販売制度が社内マニュアル作りに役立った。
- 花の日持ち試験、店舗の管理マニュアルを整備するなどして実現している。日持ち保証販売は会社としての決意表明。売上向上、店舗の意識改革につながり、効果が上がっている。

## 9. 鮮度管理における課題・問題点・方向性

- ❑ 当日に完売することはないため、その後はメンテナンスと、花の個体差を見極める目利きが重要になってくる。売り場の担当者が花の専門家ではないため。
- ❑ 延命剤などのコスト管理や、売り場でのコスト低下の方向へ目が向いている。そのために延命剤を一定量の割合で出るようにしたり、電解水の使用を検討している。
- ❑ チルド物流網の構築と、ある程度の販売ボリュームがあってはじめて、日持ち保証販売が実現。
- ❑ 生花の鮮度管理はリスクが高いため、造花にとって代わられている。
- ❑ 年中無休のインスタでは、見込みで仕入れたものが期待通りに売れないこともあり、工夫が必要。

- 花に関する理論が確立しブラッシュアップされてきて、花の日持ちは以前より長くなってきている。
- これまでの経験と技術力で、お客さまからのクレームはほとんどないが、鮮度が良いうちに販売すること。
- 早く売る。花も当日売り切りできれば良い。ただし、当日に完売することはないため、その後はメンテナンスと、花の個体差を見極める目利きが重要になってくる。
- 売り場の担当者が花の専門家ではないため意識がちがう。生鮮品だという意識はあまりない。
- 延命剤などのコスト管理ができなかったが、水に対して一定量しか出ないようにすることで、コスト管理ができるようになった。
- 電解水を利用することを現在検討している。桶の洗浄など含め、清潔で、鮮度を保てると聞いている。
- マニュアル通りに店舗で管理してもらったほうが、お客さま宅で花の鮮度が保たれる。売り場ではなくお客さまのお宅で長くもつようにしたい。
- チルド物流網の構築と、ある程度の販売ボリュームがあってはじめて、日持ち保証販売が実現。
- 生花の鮮度管理はリスクが高いため、造花にとって代わられている。
- 年中無休のインスタでは、年末年始は、年末に仕入れてから10日くらい仕入れがなくても店頭をにぎやかにしなければならない。見込みで仕入れたものが期待通りに売れないこともあり、工夫が必要。

